

2021年度
自転車保有並びに使用実態に関する調査報告書
要約版

2022年3月

一般財団法人

自転車産業振興協会

Japan Bicycle Promotion Institute

調査目的

本調査は、近年の国及び地方自治体等による自転車活用推進の取り組み、シェアサイクル等の新しい利用システムの展開のほか、新型コロナウイルスの感染拡大を含め、人々のライフスタイルが変容していることなどを踏まえ、大規模かつ詳細なアンケート調査により、都道府県・主要都市別の自転車保有台数などの基礎的統計を得ると共に、自転車利用者の行動や意識の変化について把握することを目的とする。

なお、2018年度に実施した「自転車の保有に関する実態調査」との比較分析も行う。

把握内容

- ① 世帯特性別、自転車利用者特性別の自転車保有・使用状況
- ② 2021年・2022年 都道府県別自転車保有台数の推計
- ③ 2021年・2022年主要都市別自転車保有台数の推計
- ④ 全国における2012年～2027年自転車保有台数

調査設計

- ① 調査地域：全国
- ② 母集団：一般世帯（55,705千世帯）

世帯分類	(千世帯)	
総世帯	55,830	100.0%
一般世帯	55,705	99.8%
単身世帯	21,151	37.9%
複数世帯	34,554	61.9%
施設等世帯	125	0.2%

☞2020年国勢調査結果

- ③ サンプルサイズ：20,000 世帯
- ④ 調査回答者：世帯を代表する18才～79才
- ⑤ 調査方法：インターネット調査
- ⑥ 標本台帳：株式会社クロス・マーケティングの約221万人モニター
前回調査（2018年）は、「楽天リサーチ(株)」のモニターを利用
- ⑦ サンプル抽出方法：家族人数による層別無作為抽出法

世帯数が90,000（世帯）以上の「市121」、「区56」、これに該当しない「その他」、「計241地域」を対象とし、241地域のサンプルサイズを設定した。

株式会社クロス・マーケティングのモニターからの回収世帯数は下記表の通りである。

母集団補正世帯数は回収世帯数20,000（世帯）に母集団構成比を乗じ算出した。

No	全国	クロスマーケティング モニター数	サンプルサイズ									母集団			
			設定数(世帯)			回収世帯数(世帯)			母集団補正世帯数(世帯)			一般世帯数(千世帯)			全世帯 構成 比率
			単身 世帯数	複数 世帯数	全世帯	単身 世帯数	複数 世帯数	全世帯	単身 世帯数	複数 世帯数	全世帯	単身 世帯数	複数 世帯数	全世帯	
		2,213,470	6,806	13,194	20,000	5,965	14,035	20,000	7,594	12,406	20,000	21,151	34,554	55,705	100.0%
1	北海道 札幌市中央区	7,540	17	34	51	21	30	51	29	22	51	80	61	141	0.254%
2	北海道 札幌市北区	7,222	17	33	50	14	36	50	22	28	50	60	79	139	0.250%
3	北海道 札幌市東区	7,008	16	31	47	13	34	47	21	26	47	59	72	131	0.235%
4	北海道 札幌市白石区	6,117	13	26	39	12	27	39	18	21	39	51	57	108	0.194%
5	北海道 札幌市豊平区	6,561	14	28	42	15	27	42	21	22	43	58	60	118	0.213%
6	北海道 札幌市西区	5,483	13	24	37	11	26	37	15	22	37	41	62	104	0.186%
7	北海道 札幌市その他	11,689	28	53	81	24	57	81	26	55	81	72	154	226	0.405%
8	北海道 函館市	5,102	15	29	44	14	30	44	18	25	44	51	71	121	0.218%
9	北海道 旭川市	6,623	19	37	56	14	42	56	22	34	56	62	94	156	0.279%
10	北海道 その他	54,397	150	291	441	130	311	441	167	273	440	465	759	1,225	2.198%
56	東京都 千代田区	2,869	4	9	13	5	8	13	8	6	13	21	16	37	0.066%
57	東京都 中央区	4,210	11	22	33	13	20	33	17	16	33	49	44	92	0.166%
58	東京都 港区	5,516	18	34	52	19	33	52	30	23	52	83	63	146	0.262%
59	東京都 新宿区	8,268	27	53	80	26	54	80	54	26	80	151	72	222	0.399%
60	東京都 文京区	4,811	16	32	48	16	32	48	28	20	48	77	56	134	0.240%

241地域別家族人数別の回収世帯数を示す。
母集団における2021年の241地域別世帯人員別世帯数を示す。

			241地域別 家族人数別 回収世帯数(世帯)					母集団241地域別 世帯人数別 世帯数(千世帯)				
			1人	2人	3人	4人以上	計	1人	2人	3人	4人以上	計
No.	全国		5,965	6,078	4,303	3,654	20,000	21,151	15,657	9,230	9,668	55,705
1	北海道	札幌市中央区	21	19	5	6	51	80	35	15	10	141
2	北海道	札幌市北区	14	21	8	7	50	60	39	21	19	139
3	北海道	札幌市東区	13	16	12	6	47	59	37	19	16	131
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
9	北海道	旭川市	14	25	11	6	56	62	53	23	18	156
10	北海道	その他	130	171	87	53	441	465	413	186	160	1,225
56	東京都	千代田区	5	3	4	1	13	21	8	5	4	37
57	東京都	中央区	13	14	3	3	33	49	22	12	9	92
58	東京都	港区	19	18	7	8	52	83	31	18	14	146
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
84	東京都	町田市	17	28	9	15	69	71	54	33	33	192
85	東京都	小平市	10	12	8	2	32	38	23	15	15	91
86	東京都	日野市	10	9	3	10	32	39	23	14	14	90
87	東京都	西東京市	11	11	5	7	34	40	26	16	15	97
88	東京都	その他	96	99	58	50	303	342	231	138	132	841
89	神奈川県	横浜市鶴見区	16	16	10	10	52	67	34	22	21	145
90	神奈川県	横浜市神奈川区	14	13	14	5	46	66	29	18	16	129
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
98	神奈川県	横浜市その他	62	74	60	35	231	240	179	110	106	636
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

本調査の集計方法は下記に示すウエイト値を用いての母集団補正集計とする。

ウエイト値算出の手順

- ① 「母集団の世帯人員別世帯数」の構成比を算出し、回収世帯数20,000（世帯）に乘じ、「母集団補正世帯数」を算出する。
- ② 求められた「母集団補正世帯数」を前ページで示した「家族人数別回収世帯数」で割り、ウエイト値を算出する。

			241地域別 家族人数別 母集団補正世帯数					ウエイト値				
			1人	2人	3人	4人以上	計	1人	2人	3人	4人以上	計
No.	全国		7,594	5,621	3,314	3,471	20,000	1.27	0.92	0.77	0.95	1.00
1	北海道	札幌市中央区	29	13	5	4	51	1.38	0.67	1.07	0.63	0.99
2	北海道	札幌市北区	22	14	8	7	50	1.55	0.67	0.95	0.95	1.00
3	北海道	札幌市東区	21	13	7	6	47	1.63	0.83	0.58	0.93	1.00
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
6	北海道	札幌市西区	15	12	6	5	37	1.35	0.85	0.85	0.92	1.01
7	北海道	札幌市その他	26	29	15	12	81	1.07	0.82	0.86	2.42	1.00
58	東京都	港区	30	11	6	5	52	1.57	0.61	0.92	0.64	1.01
59	東京都	新宿区	54	14	7	5	80	2.08	0.41	0.43	1.04	1.00
60	東京都	文京区	28	9	6	5	48	1.73	0.59	0.59	0.82	1.00
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
84	東京都	町田市	26	19	12	12	69	1.51	0.69	1.32	0.79	1.00
85	東京都	小平市	14	8	5	5	33	1.36	0.68	0.69	2.69	1.02
86	東京都	日野市	14	8	5	5	32	1.41	0.92	1.70	0.50	1.01
87	東京都	西東京市	14	9	6	5	35	1.30	0.84	1.16	0.78	1.02
88	東京都	その他	123	83	49	47	302	1.28	0.84	0.85	0.94	1.00
89	神奈川県	横浜市鶴見区	24	12	8	8	52	1.51	0.76	0.81	0.77	1.00
90	神奈川県	横浜市神奈川区	24	11	6	6	46	1.70	0.81	0.45	1.12	1.01
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:
98	神奈川県	横浜市その他	86	64	40	38	228	1.39	0.87	0.66	1.09	0.99
:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:	:

第3章 調査結果の概要

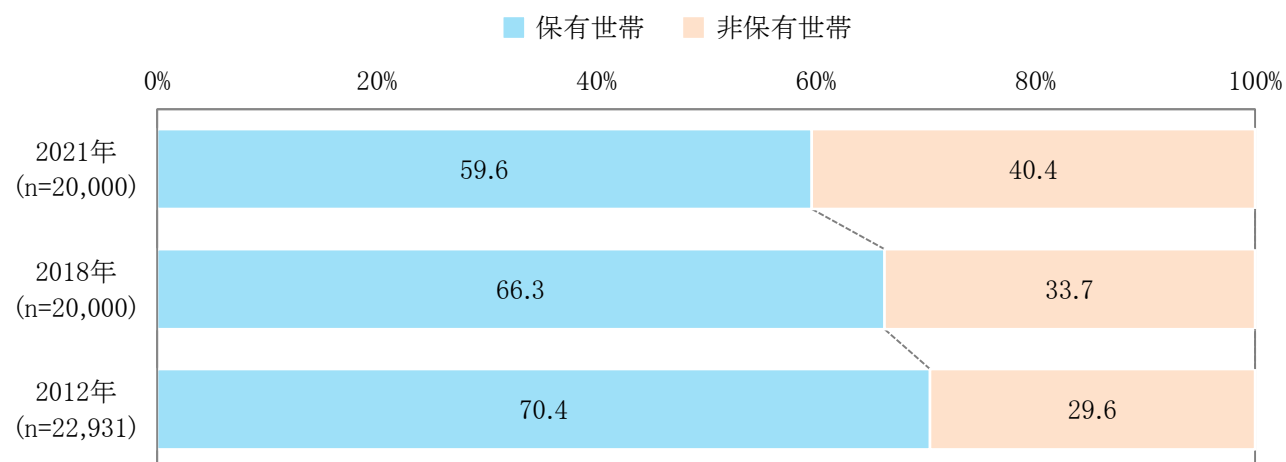
§1 自転車保有台数

1.世帯保有率、保有台数分布、1世帯当たり平均保有台数

前回（2018年調査）より自転車保有率は6.7ポイント減少している。保有台数の分布は、「8台以上」の保有率に変化は見られないが、その他の保有台数で保有率がいずれも減少している。1世帯当たりの保有台数は、全世帯で0.19台、保有世帯で0.13台減少している。

「質問」 D1.お宅には自転車がありますか。（S A）

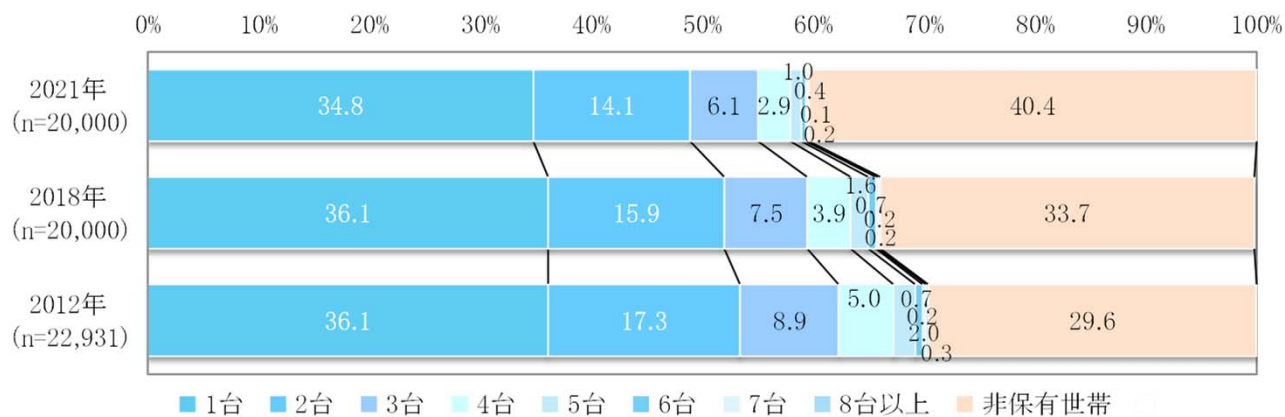
前回との保有有無別割合の比較



1.世帯保有率、保有台数分布、1世帯当たり平均保有台数

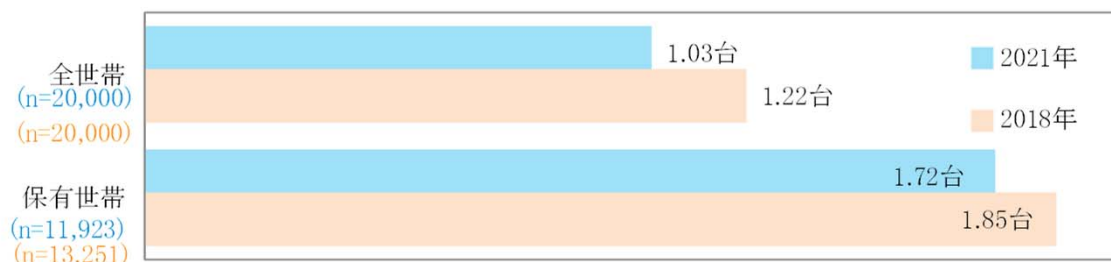
「質問」 D4.使用頻度別にそれぞれの台数をお知らせください。(数量) ※合計値のみ使用

前回との保有台数割合の比較



	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台以上	非保有世帯
①2021年	34.8 %	14.1 %	6.1 %	2.9 %	1.0 %	0.4 %	0.1 %	0.2 %	40.4 %
②2018年	36.1 %	15.9 %	7.5 %	3.9 %	1.6 %	0.7 %	0.2 %	0.2 %	33.7 %
差分(①-②)	-1.3 %	-1.8 %	-1.4 %	-1.0 %	-0.6 %	-0.3 %	-0.1 %	0.0 %	6.7 %

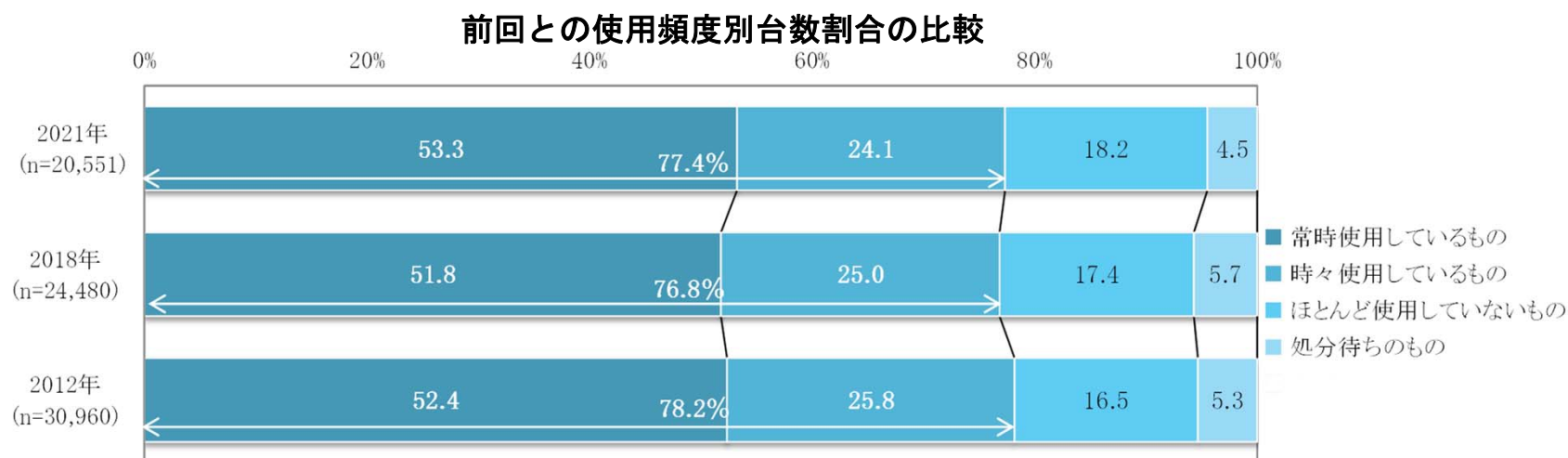
前回との1世帯当たり 平均保有台数の比較



2.使用頻度別保有台数

前回（2018年調査）より「常時使用しているもの」「時々使用しているもの」を合わせた“使用中自転車”は0.6ポイント増加しているが、全体の1世帯当たりの平均保有台数は、0.19台減少している。。

「質問」 D4.使用頻度別にそれぞれの台数をお知らせください。該当しない箇所は0（ゼロ）をご記入ください。（数量）



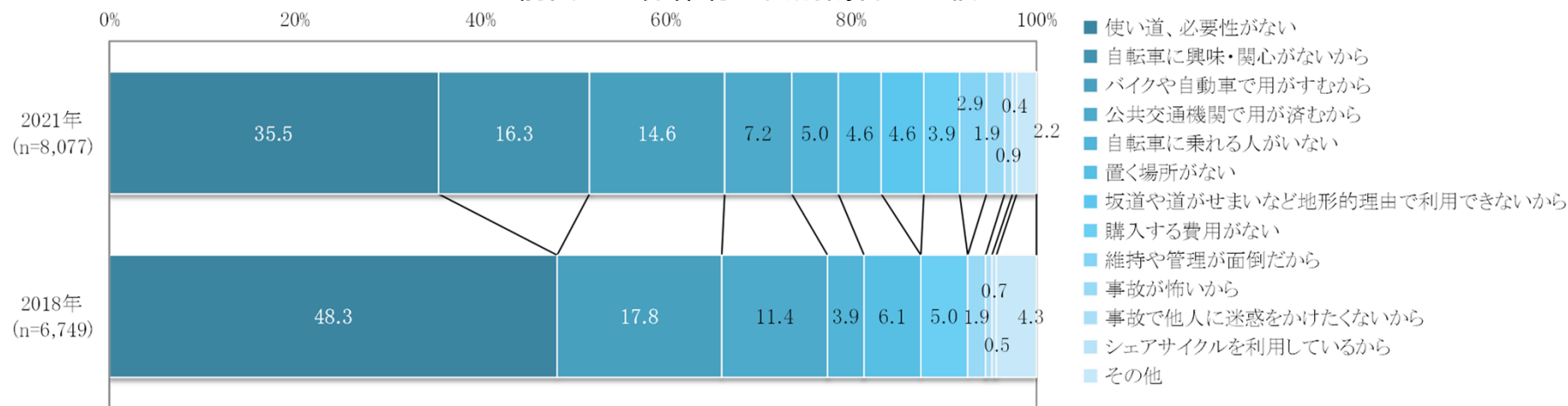
	2021年			2018年		
	保有台数 (台)	1世帯当たりの平均保有台数		保有台数 (台)	1世帯当たりの平均保有台数	
		台	%		台	%
常時使用しているもの	10,946	0.55	53.3	12,680	0.63	51.8
時々使用しているもの	4,946	0.25	24.1	6,132	0.31	25.0
ほとんど使用していないもの	3,741	0.19	18.2	4,270	0.21	17.4
処分待ちのもの	918	0.05	4.5	1,397	0.07	5.7
合計	20,551	1.03	100.0	24,480	1.22	100.0

3.自転車非保有理由

前回（2018年調査）より自転車非保有理由の「使い道、必要性がない」が12.8ポイント、「公共交通機関で用が済むから」が4.2ポイント、「バイクや自動車で用がすむから」は3.2ポイント減少している。

「質問」 D2.自転車を保有しない（お持ちにならない）理由をお知らせください。（S A）

前回との非保有理由別割合の比較



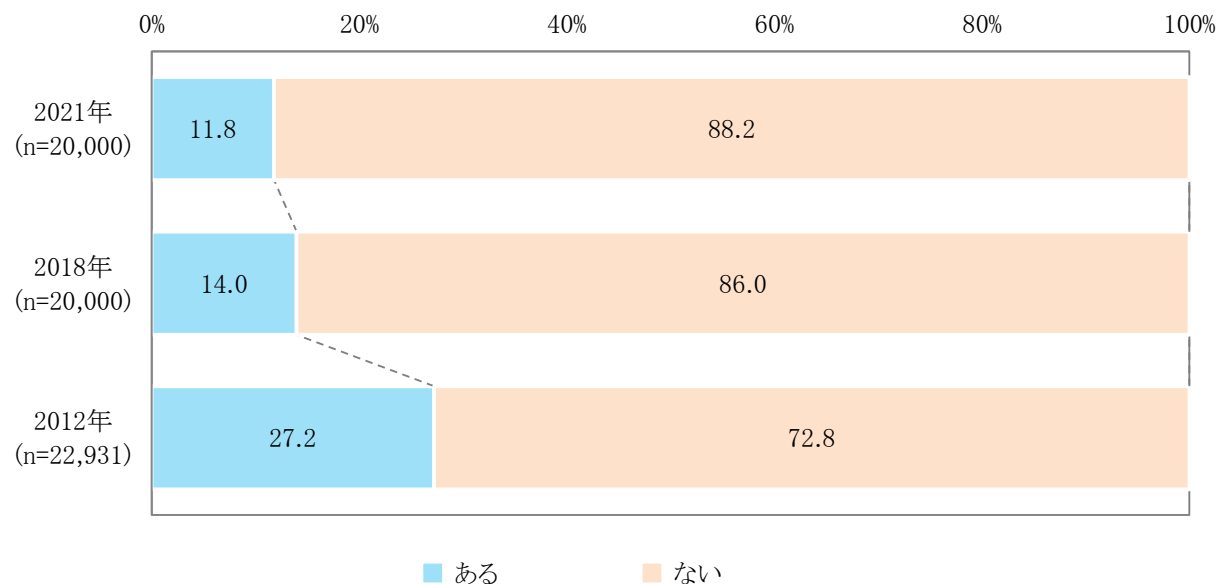
	使い道、 必要な	興味・関 心がない	バイクや 自動車	公共交 通機関	自 転 車 に 乗 れ な い	置く 場所 が な い	地 形 的 理 由 で 利 用 で き な い	買 入 る 費 用 が な い	維 持 や 管 理 が め んど く さ い	事 故 が 怖 い	事 故 で 他 人 に 迷 惑 を か け た く な い	シ ェ ア サ イ ク ル を 利 用 し て い る	そ の 他
①2021年	35.5%	16.3%	14.6%	7.2%	5.0%	4.6%	4.6%	3.9%	2.9%	1.9%	0.9%	0.4%	2.2%
②2018年	48.3%	-	17.8%	11.4%	3.9%	6.1%	-	5.0%	-	1.9%	0.7%	0.5%	4.3%
差分(①-②)	-12.8%	-	-3.2%	-4.2%	1.1%	-1.5%	-	-1.1%	-	0.0%	0.2%	-0.1%	-2.1%

4.世帯廃棄率、廃棄台数分布、1世帯あたり平均廃棄台数

前回（2018年調査）より自転車廃棄「ある世帯」が2.2ポイント減少している。
1世帯当たりの平均廃棄台数では、全世帯0.02台減少しているが、ある世帯では0.05台増加している。

「質問」 D8. 過去3年以内の廃棄台数（粗大ごみで出したもの）をお知らせください。
「売った、あげた、盗難、紛失」は除きます。（数量）

前回との自転車廃棄有無別世帯割合の比較

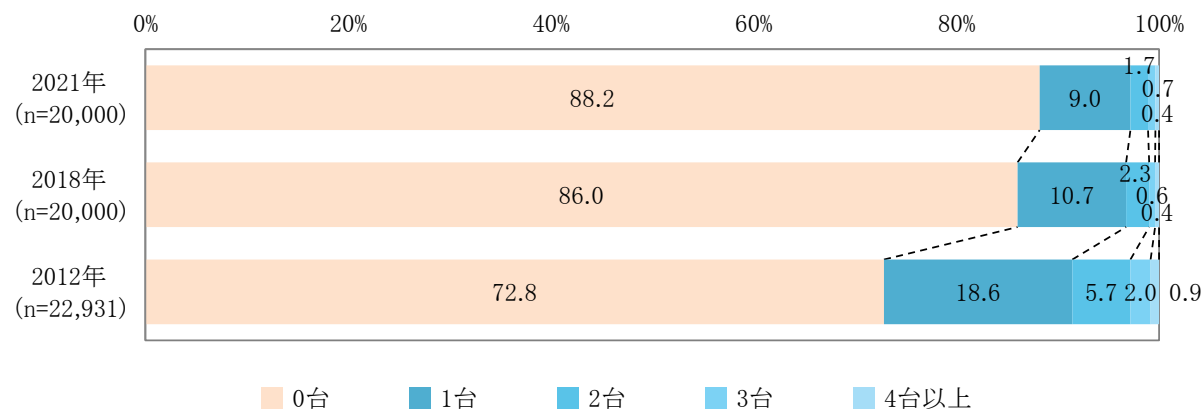


※2018年調査は2016年1月～2018年4月までの廃棄台数、2021年調査は2019年1月～2021年9月までの廃棄台数、
2012年調査は2010年1月～2012年12月までの廃棄台数

4.世帯廃棄率、廃棄台数分布、1世帯あたり平均廃棄台数

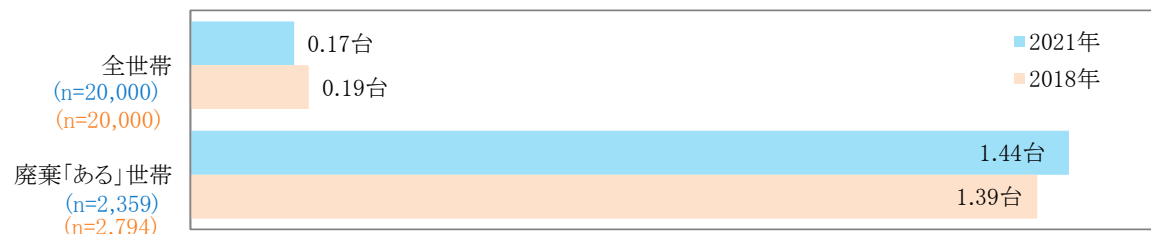
「質問」 D8. 過去3年以内の廃棄台数（粗大ごみで出したもの）をお知らせください。
「売った、あげた、盗難、紛失」は除きます。（数量）

前回との廃棄台数別割合の比較



	0台	1台	2台	3台	4台以上
①2021年	88.2 %	9.0 %	1.7 %	0.7 %	0.4 %
②2018年	86.0 %	10.7 %	2.3 %	0.6 %	0.4 %
差分(①-②)	2.2 %	-1.7 %	-0.6 %	0.1 %	0.0 %

前回との1世帯当たり 平均廃棄台数の比較



※2018年調査は2016年1月～2018年4月までの廃棄台数、2021年調査は2019年1月～2021年9月までの廃棄台数、2012年調査は2010年1月～2012年12月までの廃棄台数

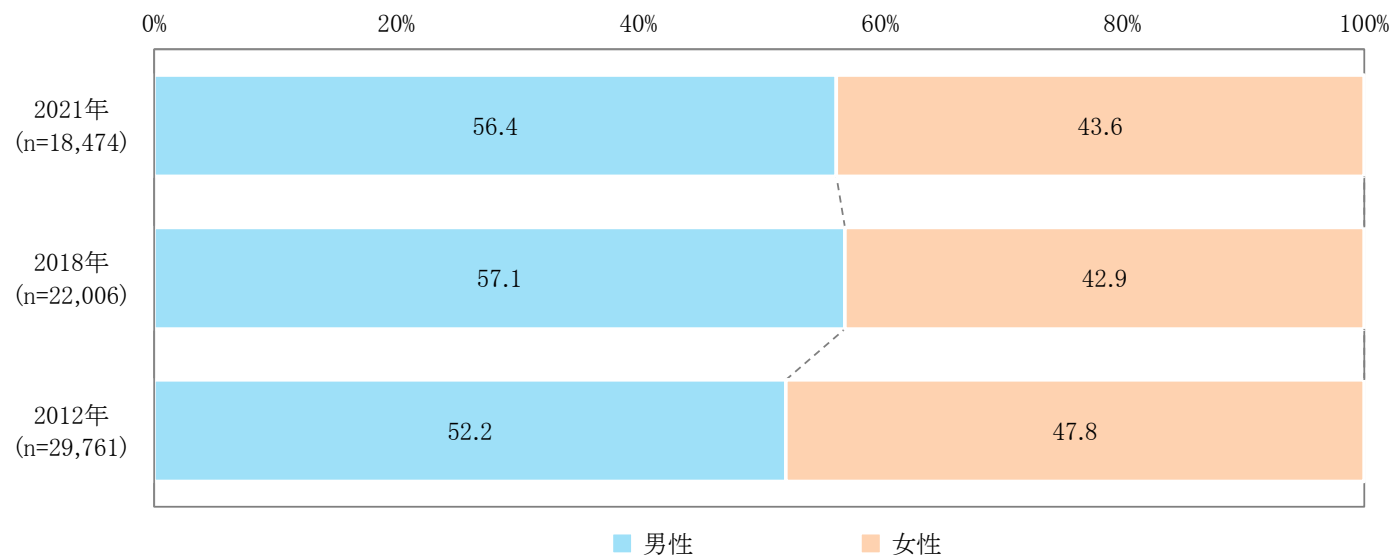
§2 自転車の概要

1. 自転車の使用者特性

前回（2018年調査）より使用者性別「女性」が0.7ポイント増加している。

「質問」 <Q10の質問は、F1（同居している人の続柄、性別、年齢、職業・就学分類）の質問で同居している方の中の誰かを訊ねる質問である。>
Q10.それは主にどなたが使いますか。

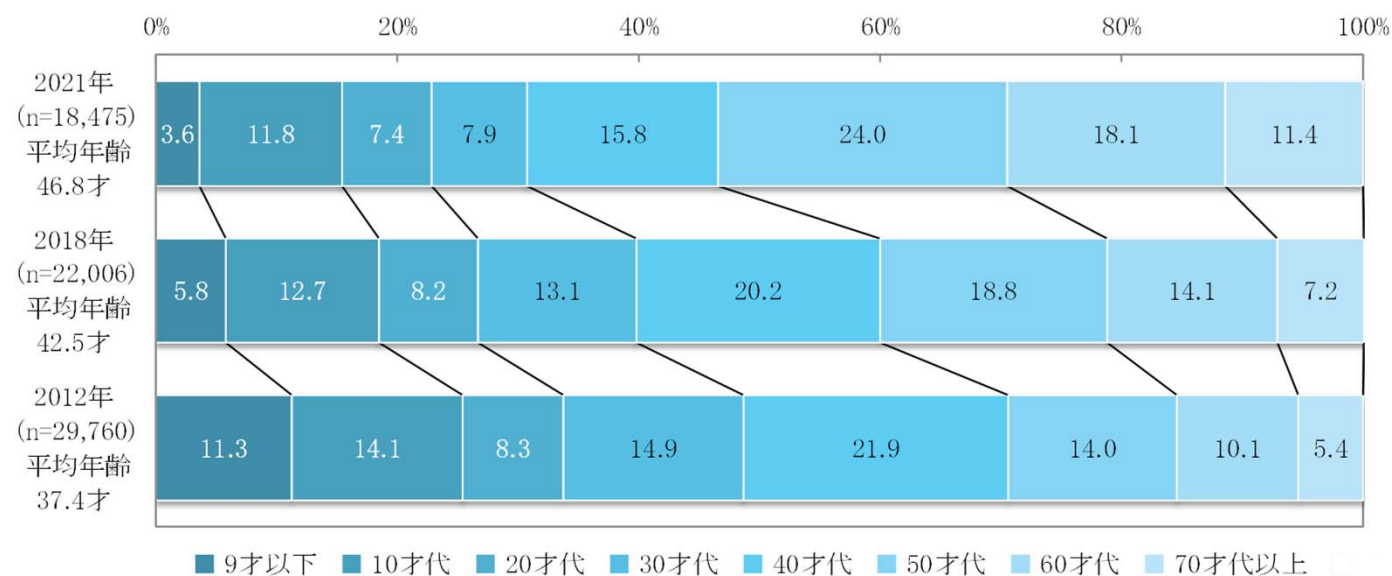
前回との使用者性別割合の比較



1. 自転車の利用者特性

前回（2018年調査）より、利用者年齢別割合では50才以上の割合が増加している。

前回との利用者年齢別割合の比較



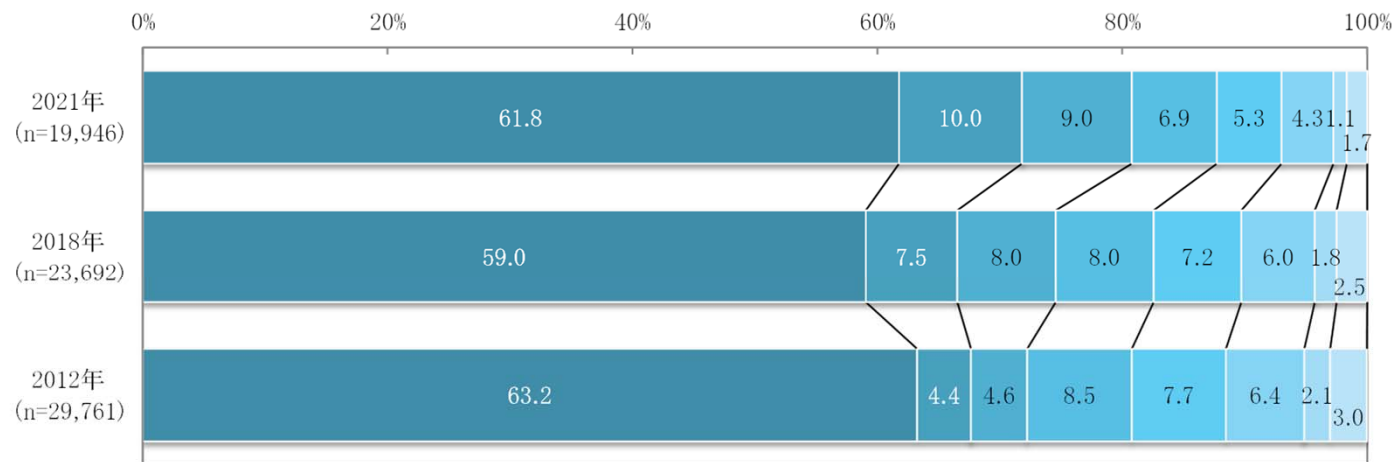
	9才以下	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	70才代以上
①2021年	3.6 %	11.8 %	7.4 %	7.9 %	15.8 %	24.0 %	18.1 %	11.4 %
②2018年	5.8 %	12.7 %	8.2 %	13.1 %	20.2 %	18.8 %	14.1 %	7.2 %
差分(①-②)	-2.2 %	-0.9 %	-0.8 %	-5.2 %	-4.4 %	5.2 %	4.0 %	4.2 %

3.車種

前回（2018年調査）より自転車の種類別割合は、「シティ車（軽快車）」が2.8ポイント増加している。「電動アシスト車のシティ車（軽快車）」は2.5ポイント増加している。

「質問」 Q2.自転車の種類はどれですか。（S A）

前回との自転車の種類別割合の比較



- シティ車(軽快車)
- 電動アシスト車
- スポーツ車
- 折りたたみ車
- 子供車
- マウンテンバイク
- 幼児車
- その他

	シティ車(軽快車)	電動アシスト車のシティ車(軽快車)	電動アシスト車の幼児同乗車	電動アシスト車のスポーツ車	スポーツ車	折りたたみ車	子供車	マウンテンバイク	幼児車	その他
①2021年	61.8%	8.0%	1.3%	0.7%	9.0%	6.9%	5.3%	4.3%	1.1%	1.7%
		10.0%								
②2018年	59.0%	5.5%	1.5%	0.5%	8.0%	8.0%	7.2%	6.0%	1.8%	2.5%
		7.5%								
差分(①-②)	2.8%	2.5%	-0.2%	0.2%	1.0%	-1.1%	-1.9%	-1.7%	-0.7%	-0.8%
		2.5%								

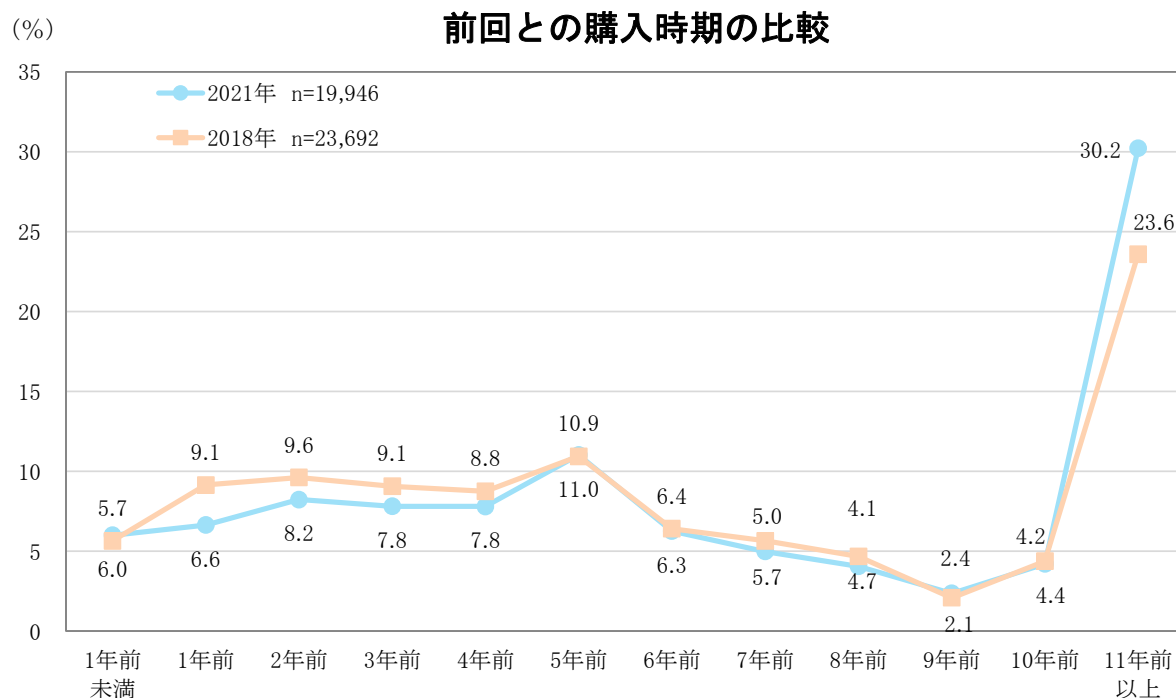
※2021年スポーツ車は、スポーツ車（ロード）とスポーツ車（クロスバイク）の合算値

4.購入時期

前回（2018年調査）より購入時期の割合は、「1年前」が2.5ポイント減少し、「11年前以上」が6.6ポイント増加している。

車種別の平均使用年数では、「電動アシスト車のスポーツ車」以外伸びているが、最多は「電動アシスト車の幼児同乗車」で1.6年増加している。

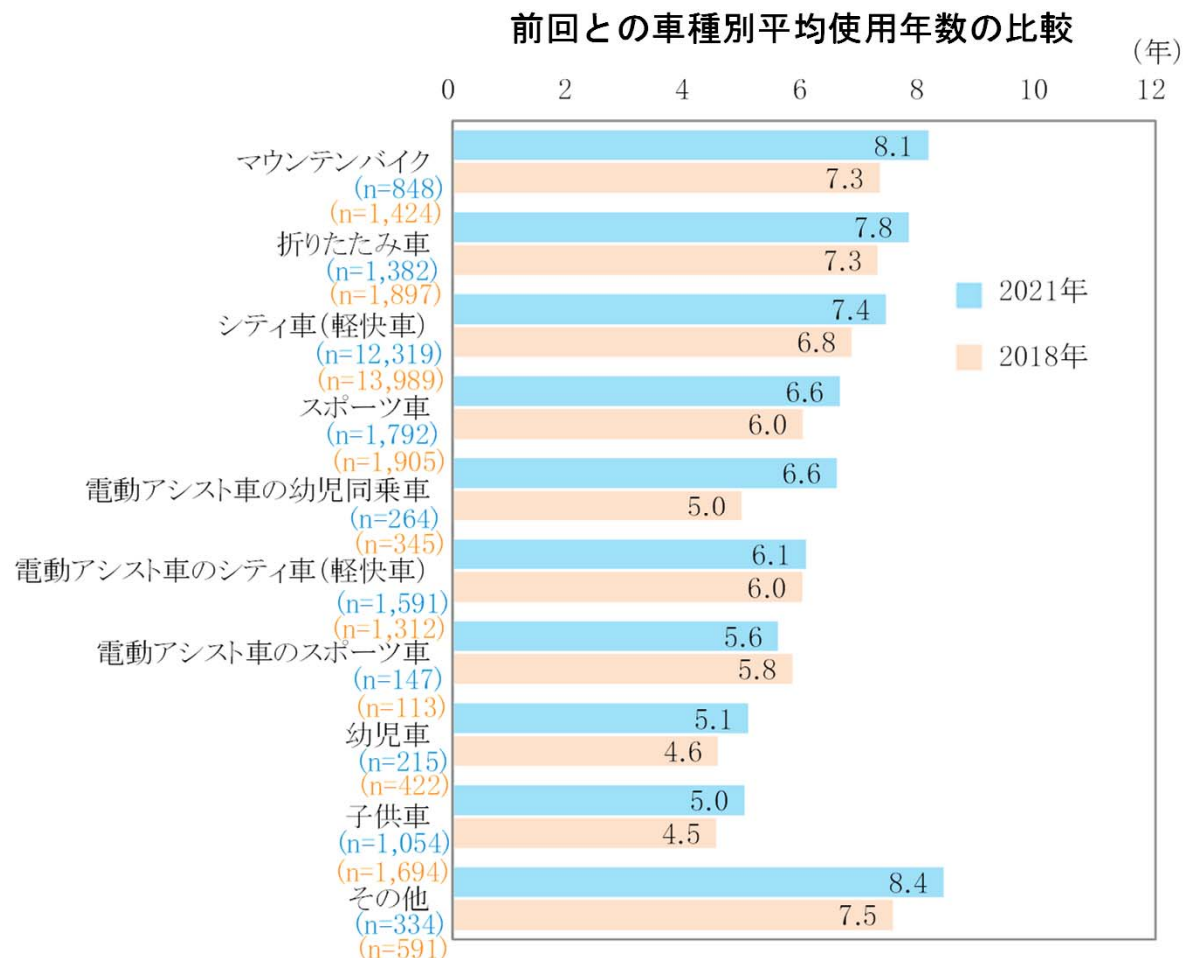
「質問」 Q1.自転車はいつごろ買われ（もらい）ましたか。（SA）



	1年前未満	1年前	2年前	3年前	4年前	5年前	6年前	7年前	8年前	9年前	10年前	11年前以上
2021年	2021年 1月～9月	2020年 1月～12月	2019年 1月～12月	2018年 1月～12月	2017年 1月～12月	2016年 1月～12月	2015年 1月～12月	2014年 1月～12月	2013年 1月～12月	2012年 1月～12月	2011年 1月～12月	2010年 以前
2018年	2018年 1月～4月	2017年 1月～12月	2016年 1月～12月	2015年 1月～12月	2014年 1月～12月	2013年 1月～12月	2012年 1月～12月	2011年 1月～12月	2010年 1月～12月	2009年 1月～12月	2008年 1月～12月	2007年 以前

4.購入時期

「質問」 Q1.自転車はいつごろ買われ（もらい）ましたか。（SA）



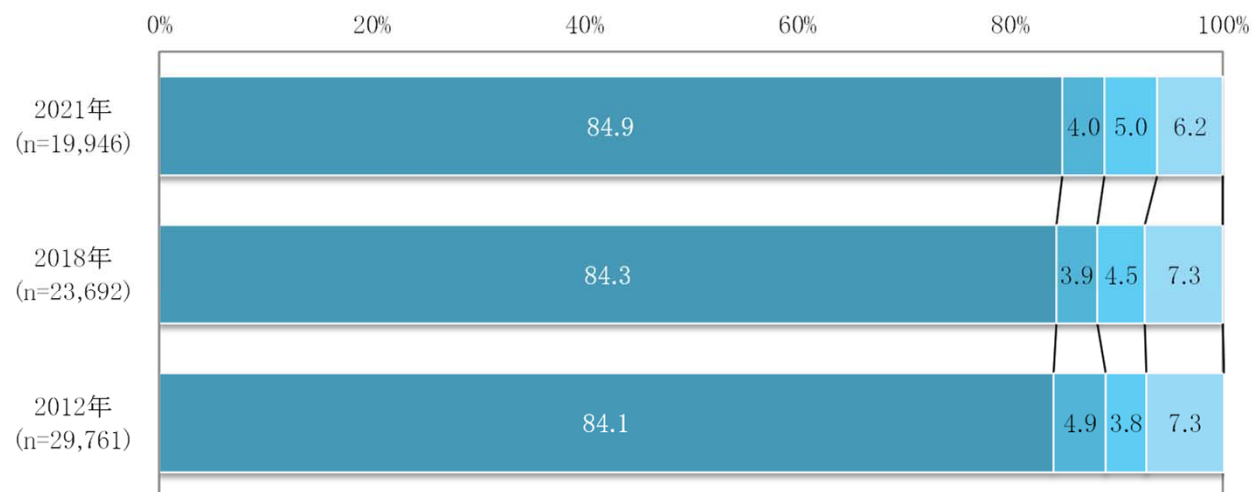
※2021年「スポーツ車」は「スポーツ車(ロード)」と「スポーツ車(クロバイク)」を平均した値

5.入手方法

前回（2018年調査）より入手方法別の割合は、「新車を買った」が0.6ポイント、「中古を買った」が0.5ポイント増加している。「中古をもらった」は1.1ポイント減少している。

「質問」 Q4.それは新車を買った（もらった）ものですか。中古を買った（もらった）ものですか。（S A）

前回との入手方法別割合の比較



■ 新車を買った ■ 新車をもらった ■ 中古を買った ■ 中古をもらった

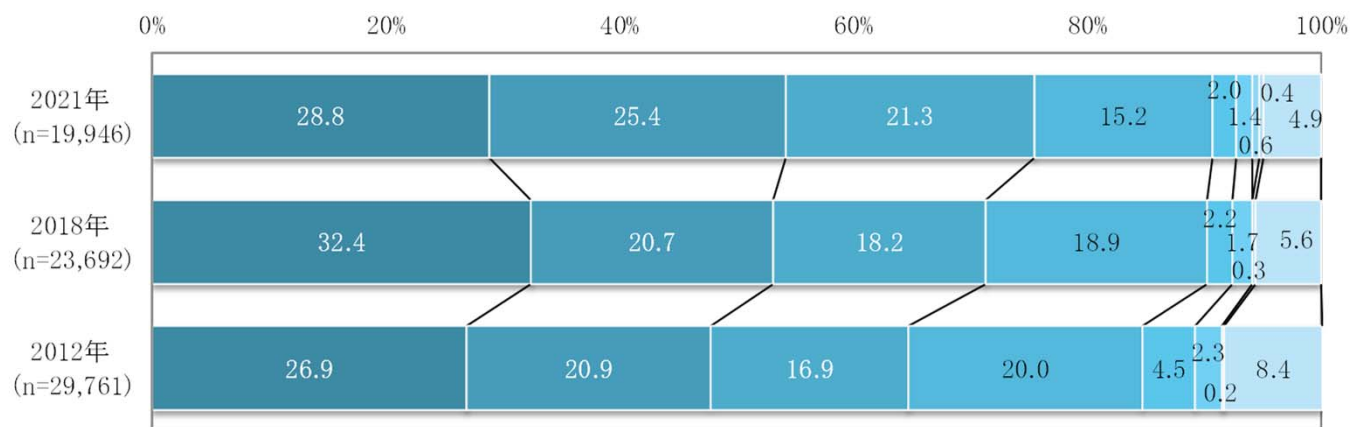
	新車を買った	新車をもらった	中古を買った	中古をもらった
①2021年	84.9%	4.0%	5.0%	6.2%
②2018年	84.3%	3.9%	4.5%	7.3%
差分(①-②)	0.6%	0.1%	0.5%	-1.1%

6.購入理由

前回より（2018年調査）より購入理由別割合の「前の自転車が壊れた」が4.7ポイント増加し、「家族の中に新たに乗る人が出てきた」が3.7ポイント減少している。

「質問」 Q5.それを買った（もらった）理由は何ですか。主な理由をあげてください。（SA）

前回との入手理由別割合の比較



- 乗らなくなった
- 前の自転車が壊れた
- 古くなった
- 家族の中に新たに乗る人が出てきた
- 盗まれた
- 景品で当たった
- コロナ禍の影響で購入した
- 災害のため紛失した
- その他

	乗らなくなった	前の自転車が壊れた	古くなった	家族の中に新たに乗る人が出てきた	盗まれた	景品で当たった	コロナ禍の影響で購入した	災害のため紛失した	その他
①2021年	28.8%	25.4%	21.3%	15.2%	2.0%	1.4%	0.6%	0.4%	4.9%
②2018年	32.4%	20.7%	18.2%	18.9%	2.2%	1.7%	-	0.3%	5.6%
差分(①-②)	-3.6%	4.7%	3.1%	-3.7%	-0.2%	-0.3%	-	0.1%	-0.7%

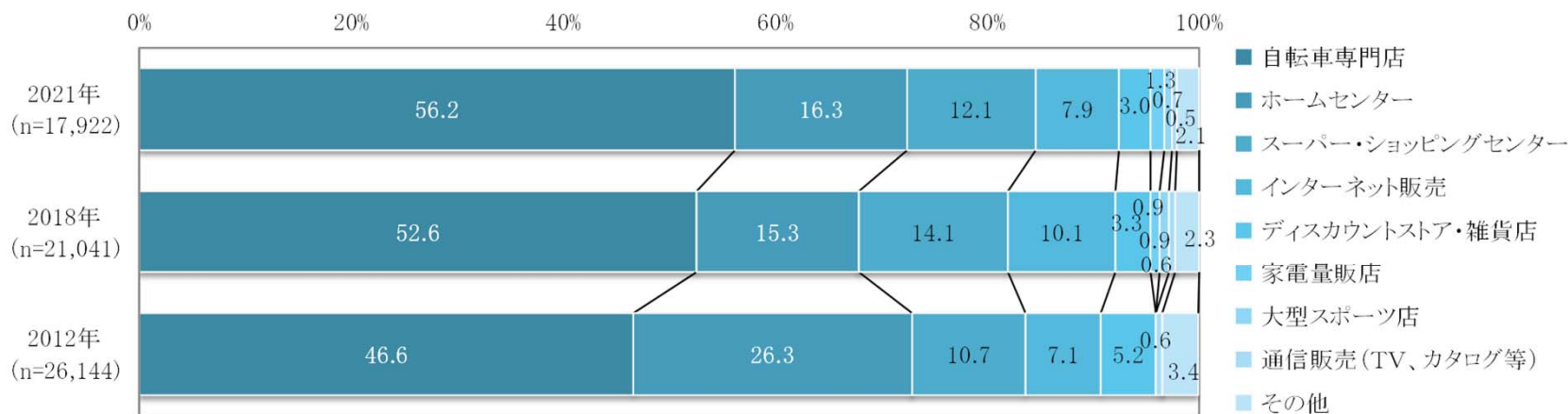
※「コロナ禍の影響で購入した」は2021年調査から追加された選択肢

7.購入先

前回（2018年調査）より購入先別の割合は「街の自転車店」が2.6ポイント増加し、「インターネット販売」が2.2ポイント減少している。

◀質問▶ <Q4.入手方法で「新車を買った」「中古を買った」とお答えになった自転車についておたずねします。>
Q6.それはどこで買われましたか。（S A）

前回との購入先別割合の比較



	街の自転車店	大型自転車専門店	ホームセンター	スーパー・ショッピングセンター	インターネット販売	ディスカウントストア・雑貨店	家電量販店	大型スポーツ店	通信販売 (TV、カタログ等)	その他
①2021年	37.6%	18.6%	16.3%	12.1%	7.9%	3.0%	1.3%	0.7%	0.5%	2.1%
①2018年	35.0%	17.6%	15.3%	14.1%	10.1%	3.3%	0.9%	0.9%	0.6%	2.3%
差分 (①-②)	2.6%	1.0%	1.0%	-2.0%	-2.2%	-0.3%	0.4%	-0.2%	-0.1%	-0.2%

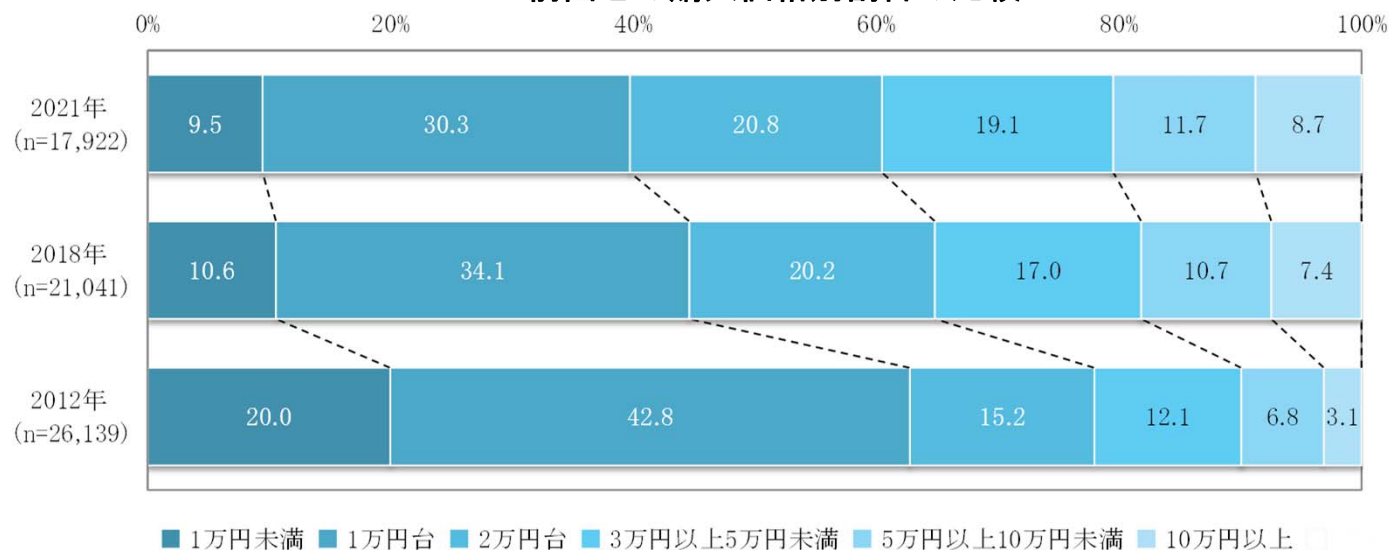
8. 購入価格

前回（2018年調査）と購入価格別の割合は1万台円以下は減少し、2万円台以上は増加している。

車種別平均購入価格は、「電動アシスト車のシティ車（軽快車）」が0.38万円増と最も増加し、「電動アシスト車のスポーツ車」が0.75万円減と最も減少している。

「質問」 <Q4.入手方法で「新車を買った」「中古を買った」とお答えになった自転車についておたずねします。>
Q7.ご購入価格はいくらぐらいでしたか。（SA）

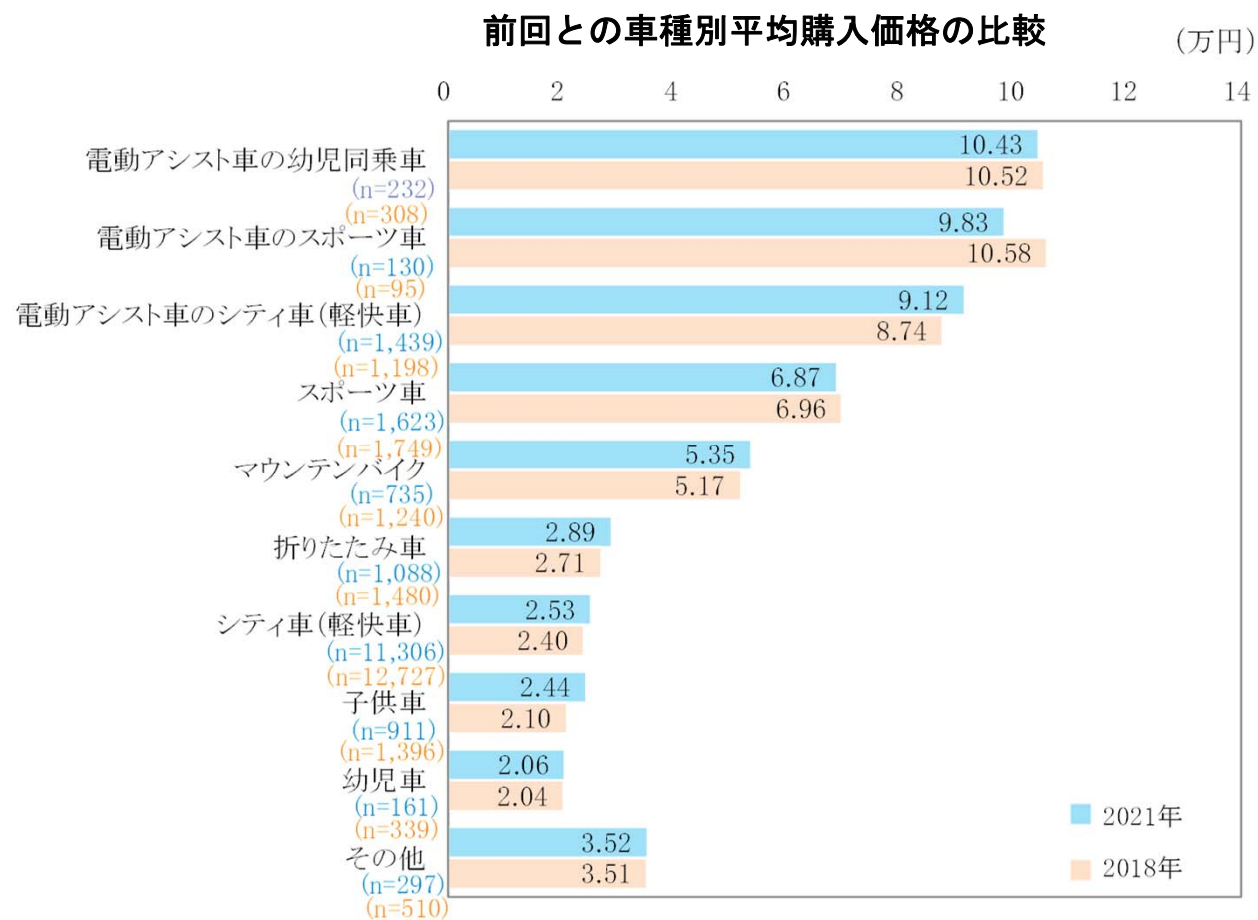
前回との購入価格別割合の比較



	1万円未満	1万円台	2万円台	3万円以上5万円未満	5万円以上10万円未満	10万円以上
①2021年	9.5 %	30.3 %	20.8 %	19.1 %	11.7 %	8.7 %
②2018年	10.6 %	34.1 %	20.2 %	17.0 %	10.7 %	7.4 %
差分(①-②)	-1.1 %	-3.8 %	0.6 %	2.1 %	1.0 %	1.3 %

8. 購入価格

「質問」 <Q4.入手方法で「新車を買った」「中古を買った」とお答えになった自転車についておたずねします。>
Q7.ご購入価格はいくらぐらいでしたか。(S A)

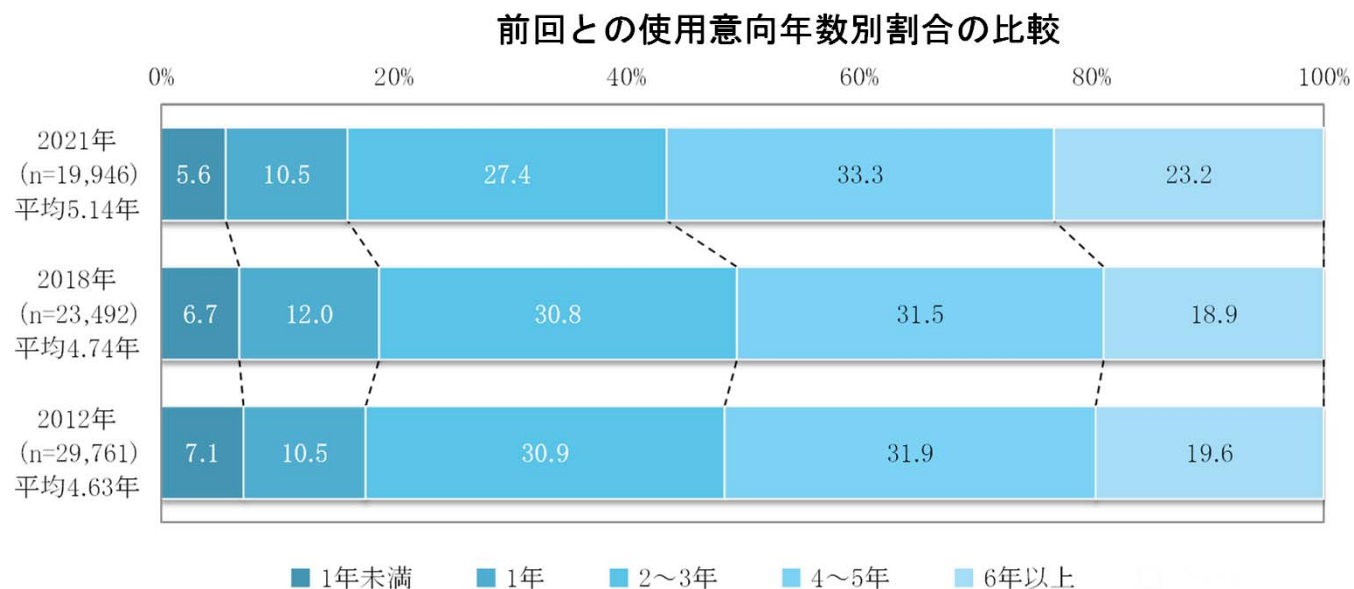


※2021年「スポーツ車」は「スポーツ車（ロード）」と「スポーツ車（クロバイク）」を平均した値

9. 使用意向年数

前回（2018年調査）と使用意向年数は3年以下は減少し、4年以上は増加した。
平均使用意向年数は前回の4.74年より0.4年増加し、5.14年である。

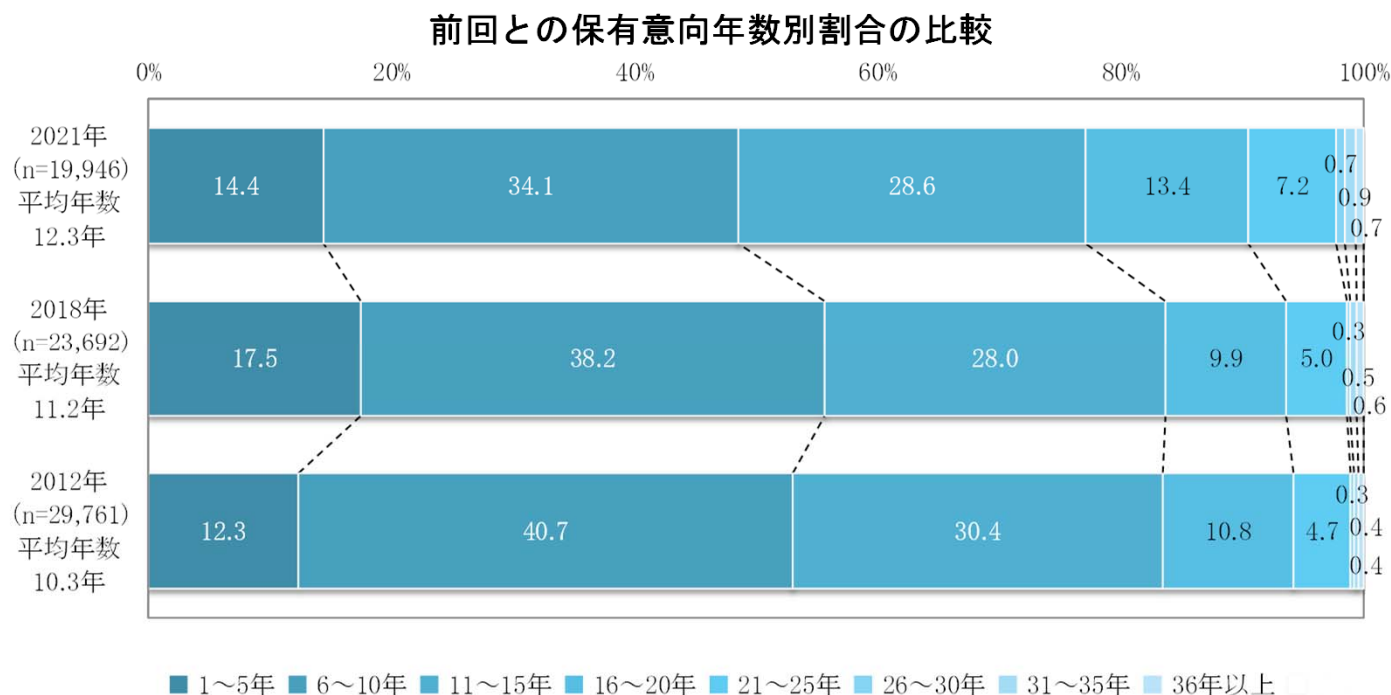
「質問」 Q17.自転車は実際にあと何年くらい使いたいと思いますか。（S A）



	1年未満	1年	2~3年	4~5年	6年以上
①2021年	5.6 %	10.5 %	27.4 %	33.3 %	23.2 %
②2018年	6.7 %	12.0 %	30.8 %	31.5 %	18.9 %
差分(①-②)	-1.1 %	-1.5 %	-3.4 %	1.8 %	4.3 %

10. 保有年数の推計

前回（2018年調査）の平均保有意向年数11.2年より1.1年増加し、12.3年である。



	1～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31～35年	36年以上
①2021年	14.4%	34.1%	28.6%	13.4%	7.2%	0.7%	0.9%	0.7%
②2018年	17.5%	38.2%	28.0%	9.9%	5.0%	0.3%	0.5%	0.6%
差分(①-②)	-3.1%	-4.1%	0.6%	3.5%	2.2%	0.4%	0.4%	0.1%

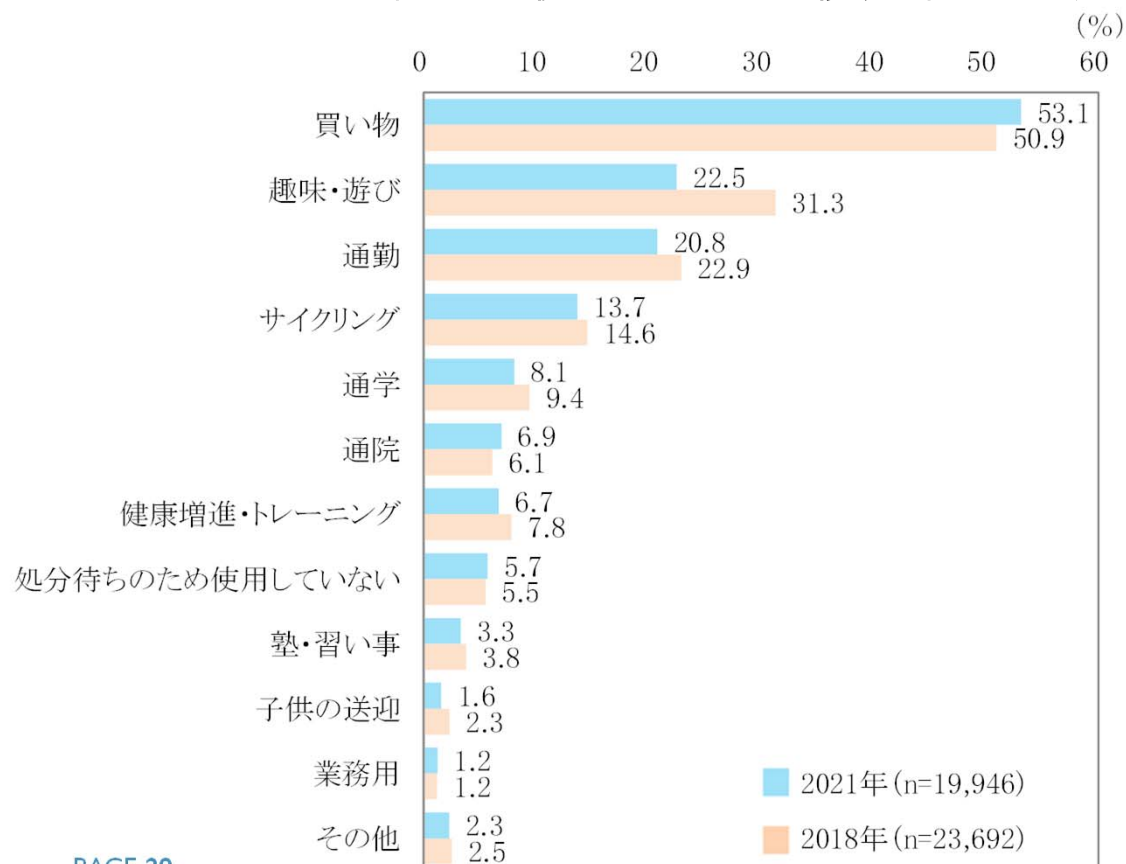
§3 自転車の使用状況

1. 使用用途

前回（2018年調査）より使用用途別の割合の「買い物」は2.2ポイント増加し、「趣味・遊び」は8.8ポイント、「通勤」は2.1ポイント減少している。

「質問」 Q11.それは普段どのような目的に使われますか。該当することを全てお知らせください。（M A）

前回との使用用途別割合（複数回答）の比較



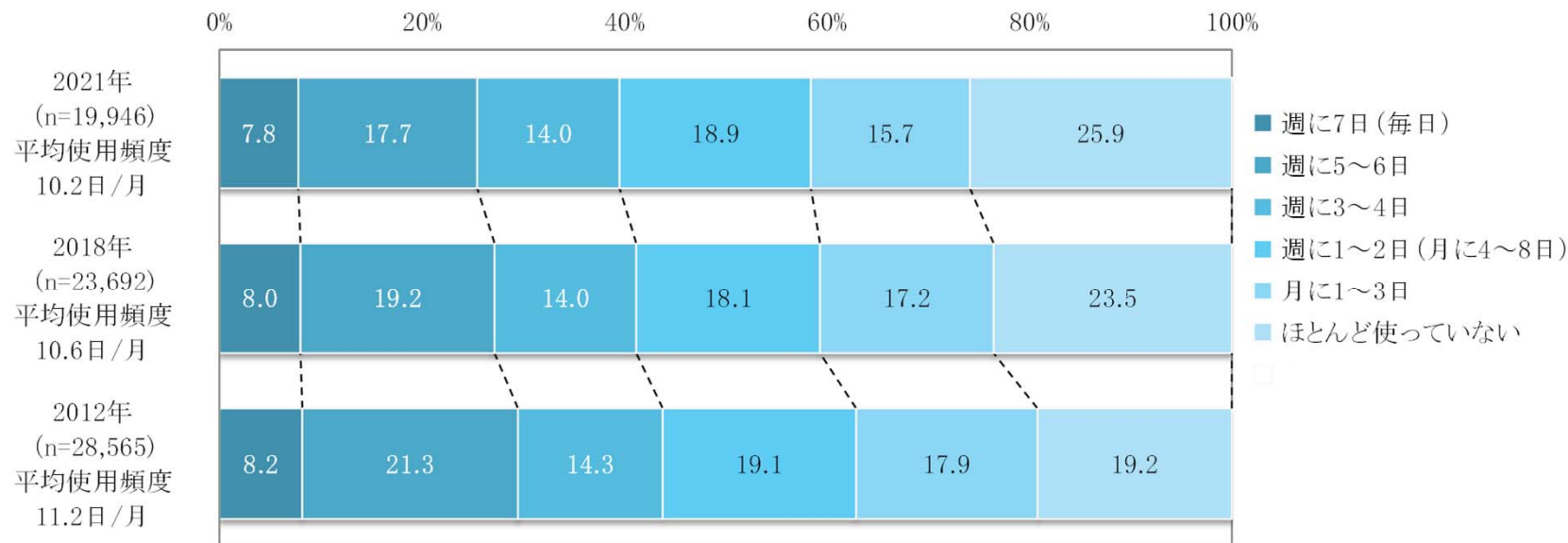
複数回答	①2021年	②2018年	差分(①-②)
買い物	53.1%	50.9%	2.2%
趣味・遊び	22.5%	31.3%	-8.8%
通勤	20.8%	22.9%	-2.1%
サイクリング	13.7%	14.6%	-0.9%
通学	8.1%	9.4%	-1.3%
通院	6.9%	6.1%	0.8%
健康増進・トレーニング	6.7%	7.8%	-1.1%
処分待ちのため使用していない	5.7%	5.5%	0.2%
塾・習い事	3.3%	3.8%	-0.5%
子供の送迎	1.6%	2.3%	-0.7%
業務用	1.2%	1.2%	0.0%
その他	2.3%	2.5%	-0.2%

2. 使用頻度

前回（2018年調査）より使用頻度別の「ほとんど使っていない」が2.4ポイント増加している。1ヵ月平均使用頻度は0.4日減少している。

「質問」 Q13.週に何日くらい使われますか。（S A）

前回との使用頻度別割合の比較



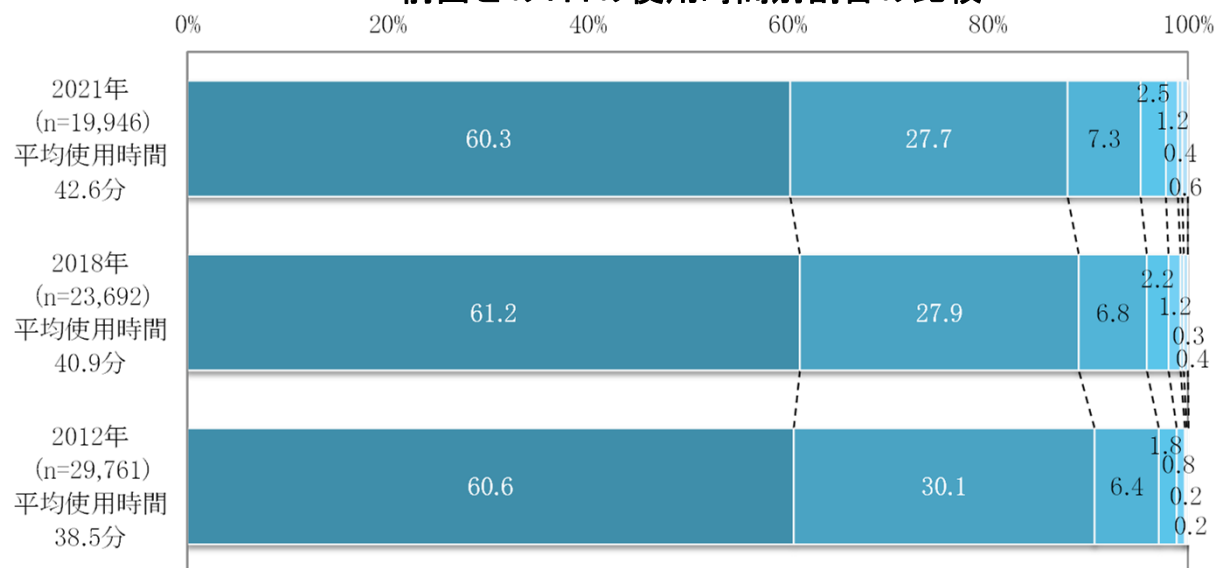
	週に7日 (毎日)	週に5~6日	週に3~4日	週に1~2日 (月に4~8日)	月に1~3日	ほとんど使っていない
①2021年	7.8%	17.7%	14.0%	18.9%	15.7%	25.9%
②2018年	8.0%	19.2%	14.0%	18.1%	17.2%	23.5%
差分(①-②)	-0.2%	-1.5%	0.0%	0.8%	-1.5%	2.4%

3. 1日の使用時間

前回（2018年調査）より使用時間別割合は、「30分以内」が0.9ポイント減少し、「1時間以上」が1.1ポイント増加している。
平均使用時間は1.7分増加している。

「質問」 Q14.乗る時の使用時間（乗っている時間）は大体1日にどのくらいですか。（S A）

前回との1日の使用時間別割合の比較



■ 30分以内 ■ 1時間以内 ■ 2時間以内 ■ 3時間以内 ■ 5時間以内 ■ 7時間以内 ■ 7時間以上

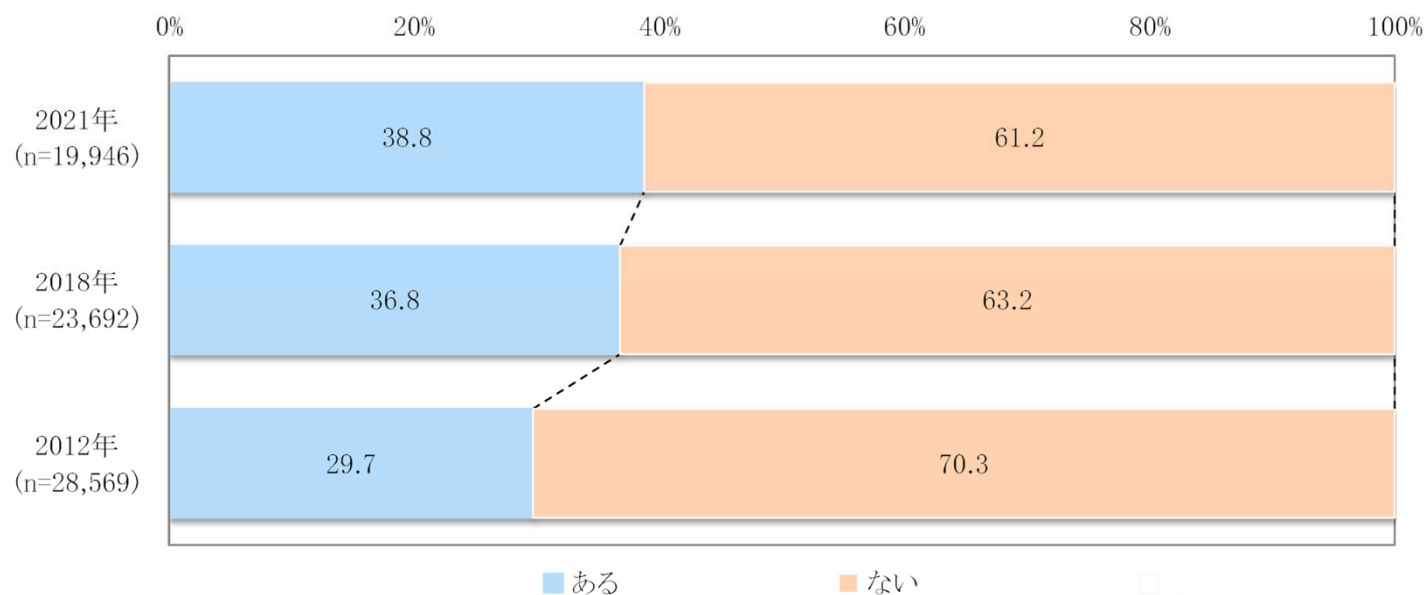
	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	5時間以内	7時間以内	7時間以上	1時間以上
①2021年	60.3%	27.7%	7.3%	2.5%	1.2%	0.4%	0.6%	12.0%
②2018年	61.2%	27.9%	6.8%	2.2%	1.2%	0.3%	0.4%	10.9%
差分(①-②)	-0.9%	-0.2%	0.5%	0.3%	0.0%	0.1%	0.2%	1.1%

4. 点検・整備の有無

前回（2018年調査）より点検・整備を行ったことが「ある」と回答した人の割合は、2.0ポイント増加している。

「質問」 Q15. 自転車を販売しているお店で点検・整備を行ったことがありますか。（S A）

前回との点検・整備有無別割合の比較



	ある	ない
①2021年	38.8 %	61.2 %
②2018年	36.8 %	63.2 %
差分(①-②)	2.0 %	-2.0 %

5. 点検・整備の間隔

前回（2018年調査）より点検・整備の平均間隔年数は、0.17年長くなっている。

「質問」 <Q15.点検・整備を「ある」とお答えになった自転車についておたずねします。>
Q16.それはどのくらいの頻度で点検・整備をしていますか。（SA）

前回との点検・整備の頻度別割合の比較



	月に1回	6ヶ月に1回	1年に1回	2年に1回	3年に1回	それ以下の頻度
①2021年	5.5%	14.5%	28.6%	10.7%	6.7%	33.9%
②2018年	6.9%	16.2%	28.2%	11.8%	7.2%	29.6%
差分(①-②)	-1.4%	-1.7%	0.4%	-1.1%	-0.5%	4.3%

6. 防犯登録の有無

前回（2018年調査）より防犯登録を「している」割合が2.5ポイント増加している。

「質問」 Q8.それは防犯登録を行っていますか。（SA）

前回との防犯登録有無別割合の比較



	している	していない
①2021年	82.3 %	17.7 %
②2018年	79.8 %	20.2 %
差分(①-②)	2.5 %	-2.5 %

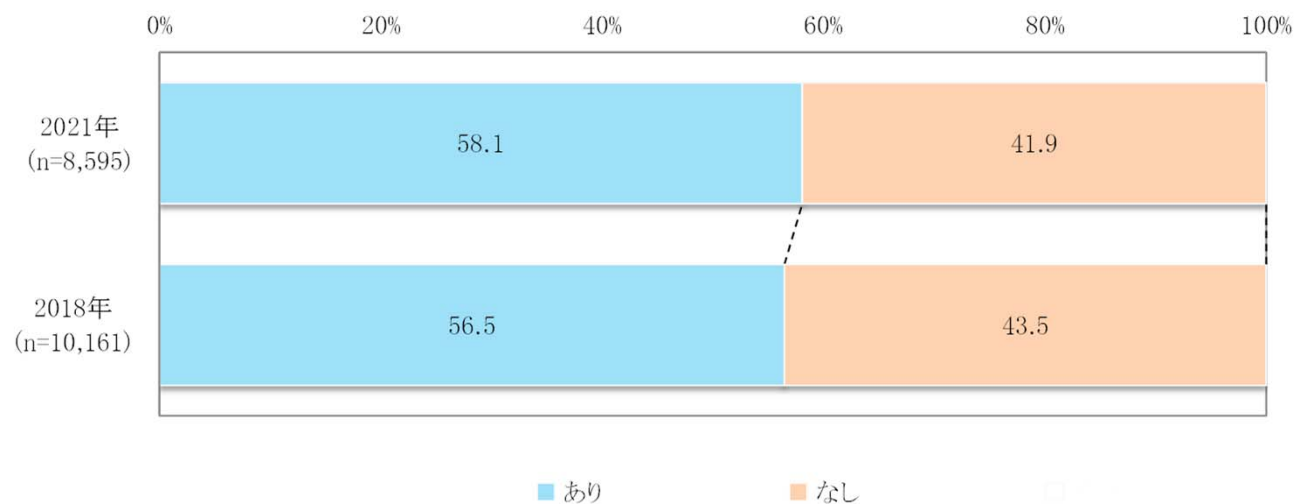
7. 自動点灯ライトの有無

前回（2018年調査）とシティ車〔軽快車〕保有世帯のみ自動点灯ライト付きの自転車購入割合を比べた。自動点灯ライト「あり」割合は1.6ポイント増加している。

「質問」 <Q2.自転車の種類を「シティ車（軽快車）」とお答えになった方についておたずねします。>

Q3. 購入時に自動点灯のライトがついた自転車を購入されましたか。（S A）

前回との自動点灯ライト自転車購入有無別割合の比較
（シティ車〔軽快車〕保有世帯のみ）



	あり	なし
①2021年	58.1 %	41.9 %
②2018年	56.5 %	43.5 %
差分(①-②)	1.6 %	-1.6 %

8. 自転車損害保険加入の有無

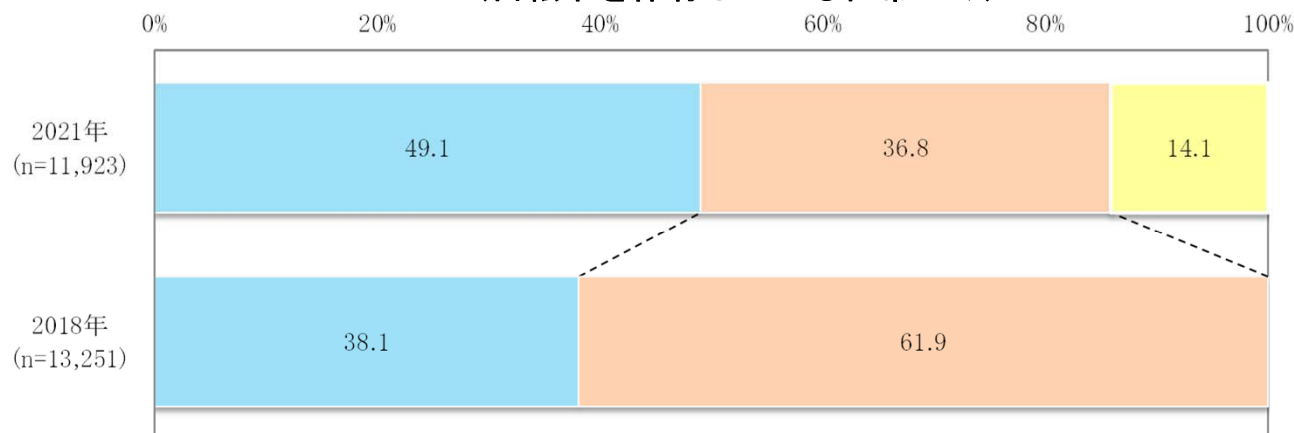
前回（2018年調査）より自転車損害保険に「加入している」割合が11.0ポイント増加している。

「質問」 <D1.自転車をお持ちになっているとお答えになった方についておたずねします。>

Q9. 自転車損害保険に加入していますか。（S A）

※自転車損害賠償保険等とは、自転車利用中の交通事故で、他人の身体の被害に係る損害及び財物に係る損害を填補する保険や共済です。

前回との自転車損害保険加入有無別割合
(自転車を保有している世帯のみ)



■ 加入している ■ 加入していない ■ わからない □

	加入して いる	加入して いない	わからない
①2021年	49.1 %	36.8 %	14.1 %
②2018年	38.1 %	61.9 %	-
差分(①-②)	11.0 %	-25.1 %	-

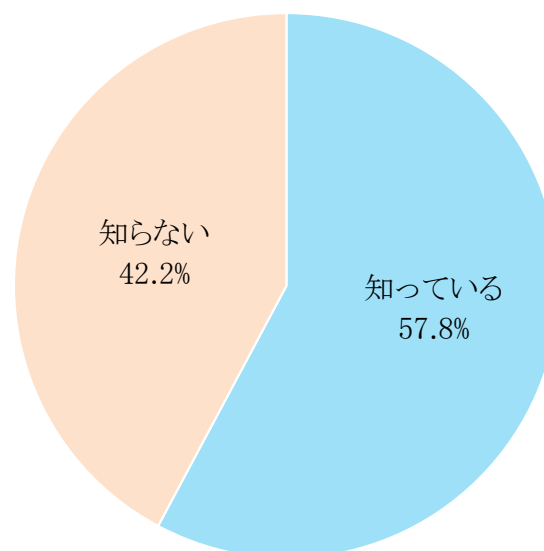
※「わからない」は2021年調査から追加された選択肢

9. シェアサイクルの認知

シェアサイクルを知っているかどうかを聞いた。「知っている」と回答した割合は57.8%である。

「質問」 F10.あなたは「シェアサイクル」をご存知でしたか。(S A)

シェアサイクルの認知割合 n=20,000



10. シェアサイクルの利用割合

シェアサイクルを知っている世帯にシェアサイクルを利用したことがあるかどうかを聞いた。「今まで一度も利用したことはない」割合は92.4%となった。「不定期であるが、現在利用している」と「定期的に利用している」を合わせた“利用している”割合は3.2%となった。

「質問」 F8. <知っている>と回答した方へ
F11.あなたは今までに「シェアサイクル」を利用したことがありますか。

シェアサイクルの利用割合 n=11,563

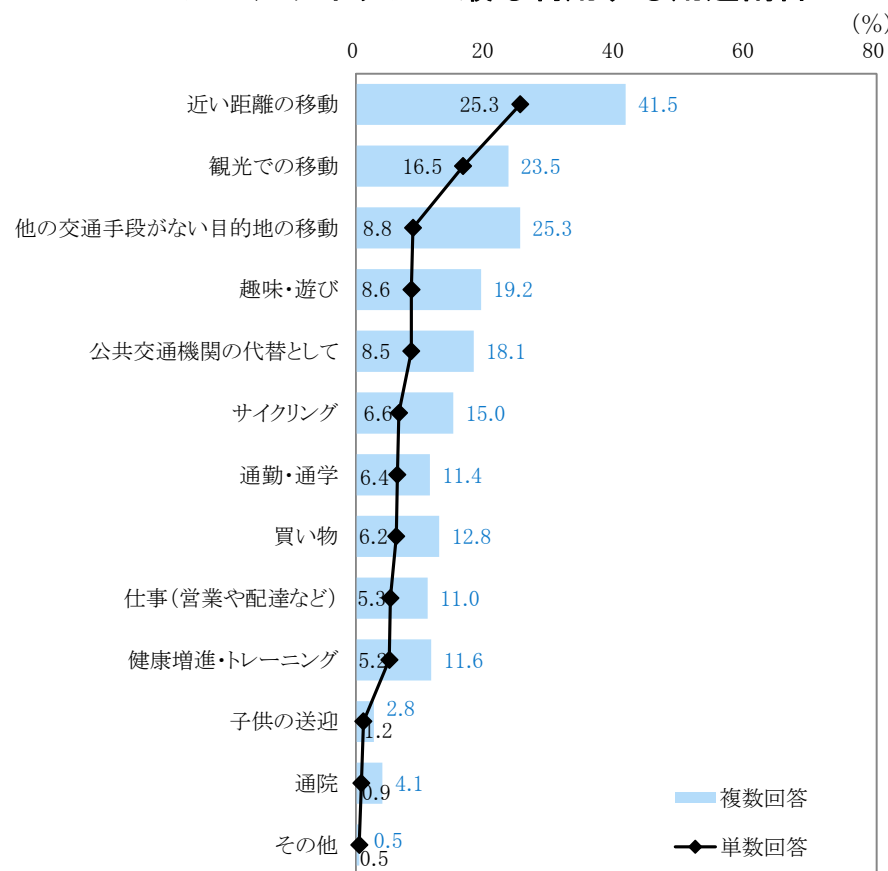
	n	%
今まで一度も利用したことはない	10,683	92.4
以前利用していたが、現在は利用していない	518	4.5
不定期ではあるが、現在利用している	272	2.4
定期的に、現在利用している	90	0.8

11. シェアサイクルを利用する用途

シェアサイクルを利用していると回答した世帯にシェアサイクルの利用用途を聞いた。「近い距離の移動」が最も多い。（複数回答で41.5%、単数回答で25.3%）

「質問」 F11. で「不定期ではあるが、現在利用している・定期的に、現在利用している」と回答した方へ
 F12. シェアサイクルを利用する用途をお知らせください。（M A）
 F13. シェアサイクルを最も利用する用途をお知らせください。（S A）

シェアサイクルの最も利用する用途割合 n=362

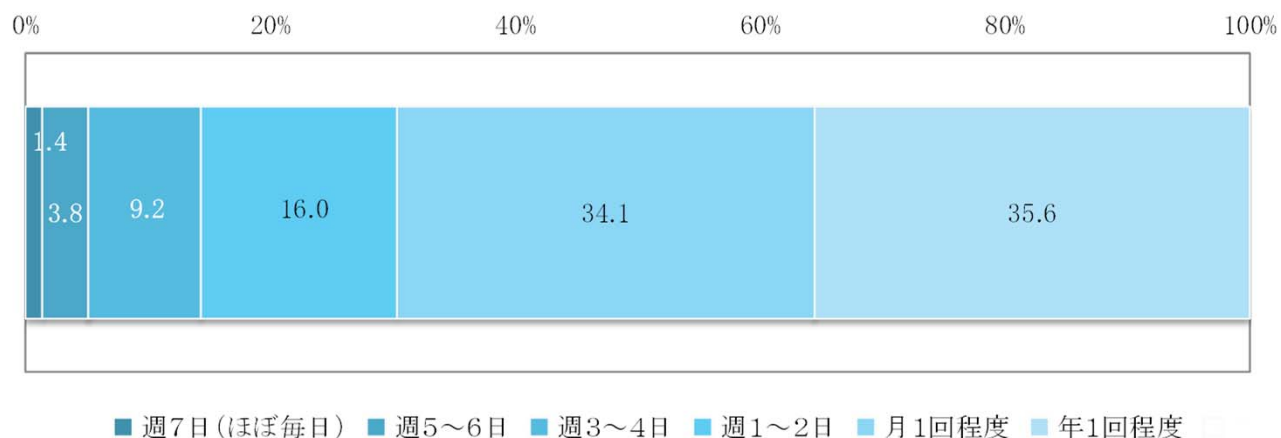


12. シェアサイクルの利用頻度

シェアサイクルを利用している人にシェアサイクルの利用頻度について聞いた。「年1回程度」が35.6%で最も多く、平均利用日数は4.0日/月となった。

「質問」 F11. で「不定期ではあるが、現在利用している・定期的に、現在利用している」と回答した方へ
F14. シェアサイクルを1週間に何日ぐらい利用していますか。(S A)

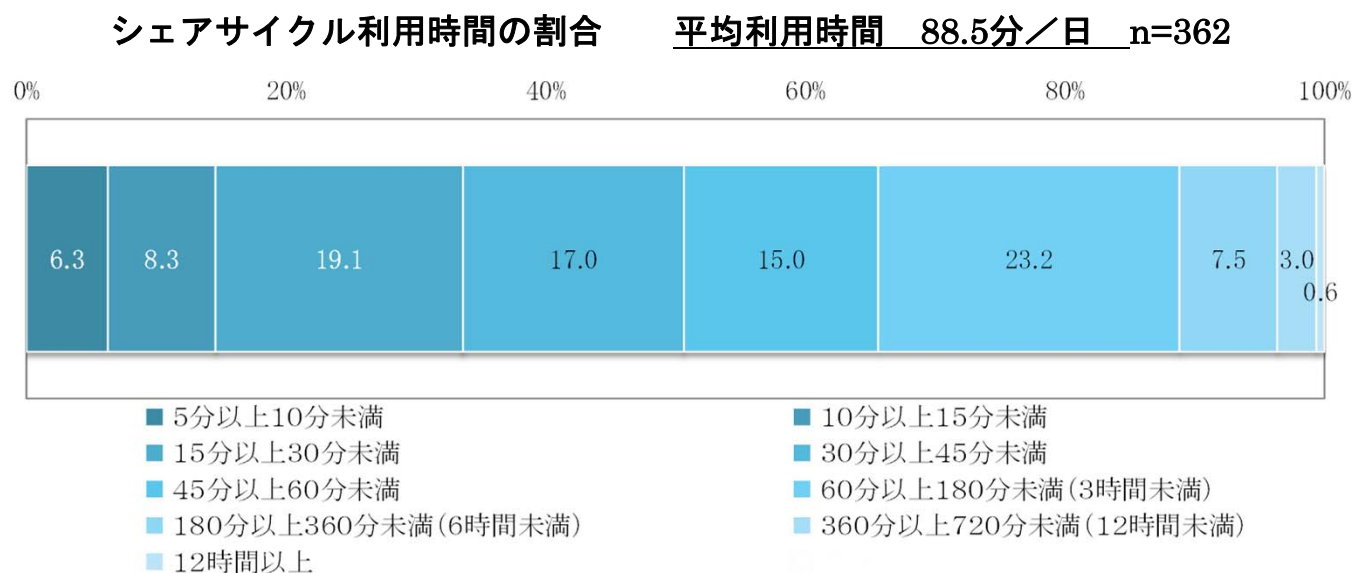
シェアサイクル利用頻度 日/週の割合 平均利用日数 4.0日/月 n=362



13. シェアサイクルの1日利用時間

「不定期ではあるが、現在利用している」「定期的に、現在利用している」と回答した人にシェアサイクルの1日利用時間を聞いた。「60分以上180分未満」が23.2%で最も多く、平均利用時間88.5分/日となった。

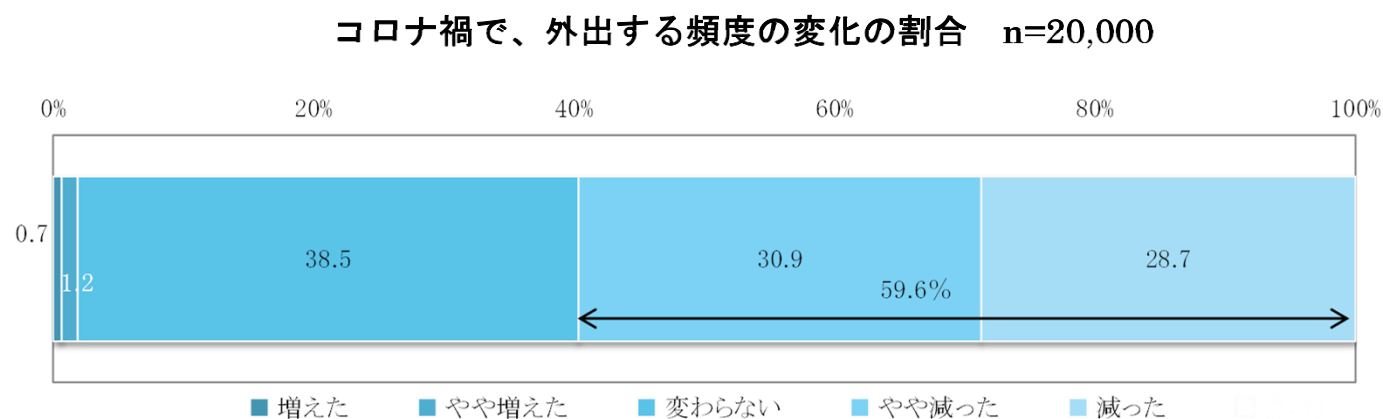
「質問」 F11. で「不定期ではあるが、現在利用している・定期的に、現在利用している」と回答した方へ
F15. シェアサイクルを利用する1日の平均的な時間はどのくらいですか。(S A)



14.コロナ禍で外出頻度

コロナ禍で外出する頻度に変化があったかどうかを聞いた。「減った」「やや減った」を合わせ減った割合は59.6%となった。

《質問》 F6.コロナ禍で、外出する頻度に変化がありましたか。(S A)

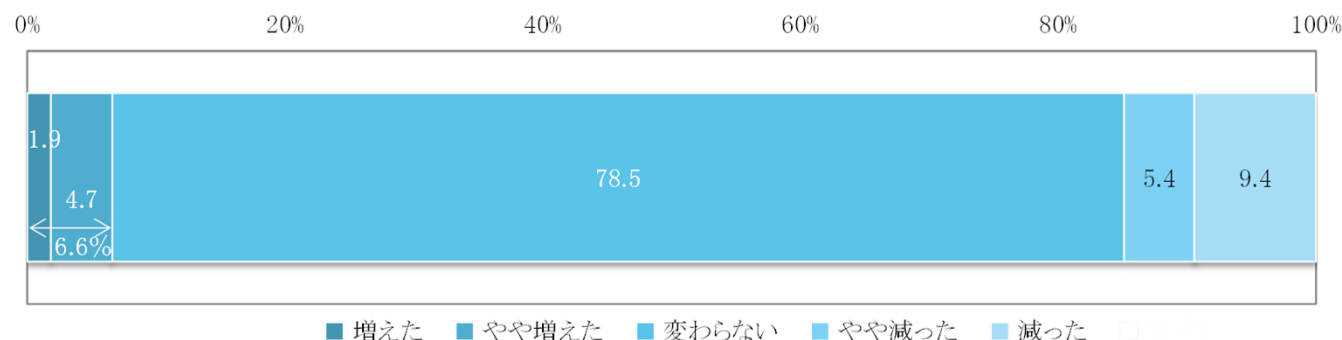


15. コロナ禍での自転車外出頻度

コロナ禍で、外出する際の自転車利用割合の変化について聞いた。「増えた」「やや増えた」を合わせ増えた割合は6.6%だった。

《質問》 F7.コロナ禍で、外出する際の移動手段としての自転車の利用割合に変化がありましたか。(S A)

コロナ禍で、外出する際の自転車の利用割合の変化の割合 n=20,000



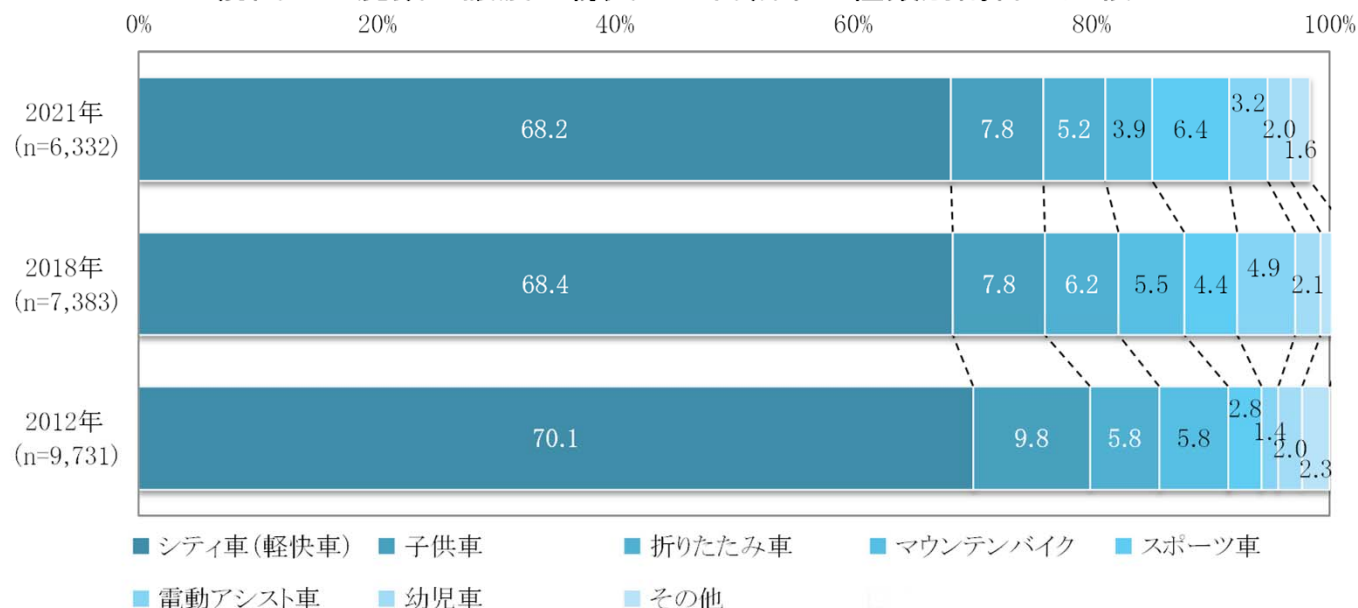
§4 廃棄・譲渡・紛失した 自転車の概要・使用状況

1. 廃棄・譲渡・紛失した自転車の種類

前回（2018年調査）より廃棄・譲渡・紛失した自転車の種類別割合は、「スポーツ車」が2.0ポイント増加、「マウンテンバイク」が1.6ポイント減少している。

《質問》 Q20.廃棄・譲渡・紛失された自転車の種類はどれですか。（S A）

前回との廃棄・譲渡・紛失した自転車の種類別割合の比較



	シティ車(軽快車)	子供車	折りたたみ車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車のシティ車(軽快車)	電動アシスト車の幼児同乗車	電動アシスト車のスポーツ車	幼児車	その他
①2021年	68.2%	7.8%	5.2%	3.9%	6.4%	3.8%	0.7%	0.4%	2.0%	1.6%
②2018年	68.4%	7.8%	6.2%	5.5%	4.4%	2.1%	0.7%	0.4%	2.1%	2.4%
差分(①-②)	-0.2%	0.0%	-1.0%	-1.6%	2.0%	1.7%	0.0%	0.0%	-0.1%	-0.8%

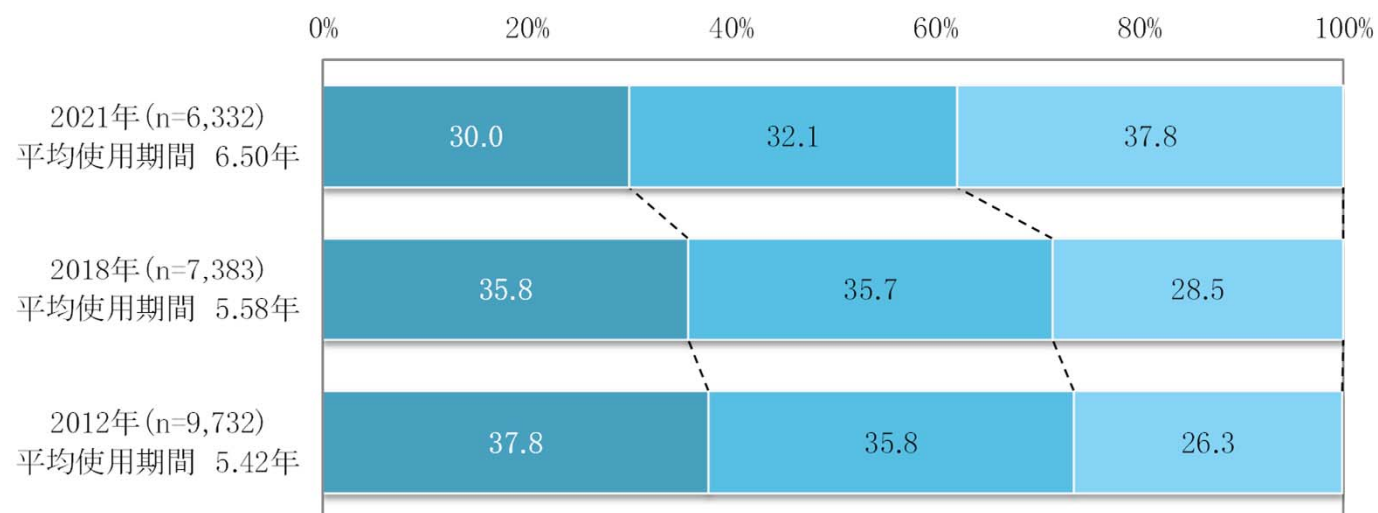
※2021年「スポーツ車」は、「スポーツ車（ロード）」、「スポーツ車（クロスバイク）」を合計した値

3. 廃棄・譲渡・紛失した自転車の使用期間

前回（2018年調査）より廃棄・譲渡・紛失した自転車の使用期間別割合の「3年以下」が5.8ポイント減少し、「7年以上」が9.3ポイント増加した。
平均使用年数は、0.92年長い。

「質問」 Q21.その自転車は何年ぐらいお使いになりましたか。（数量）

前回との廃棄・譲渡・紛失した自転車の使用期間別割合の比較



■ 3年以下 ■ 4～6年 ■ 7年以上

	3年以下	4～6年	7年以上
①2021年	30.0 %	32.1 %	37.8 %
②2018年	35.8 %	35.7 %	28.5 %
差分(①-②)	-5.8 %	-3.6 %	9.3 %

§5 自転車についての意見

1. 自転車についての意見

前回（2018年調査）と自転車に対する意見の回答率を比べた。
「ルール・マナーを守るべきだ」は16.4ポイント増加し、「車に比べて安価・便利」で23.6ポイント、「走行時爽快感」で12.2ポイント減少した。

	① 2021年 調査 (n=20,000)	② 2018年 調査 (n=20,000)	差分 (①-②)	差分 (①-②) (%)
ルール・マナーを守るべきだ	62.2%	45.8%	16.4%	16.4
交通ルール違反取り締まるべき	50.2%	37.3%	12.9%	12.9
通行人への怪我不安	50.2%	39.6%	10.6%	10.6
幼児2人同乗は便利	7.9%	3.0%	4.9%	4.9
交通ルールの学ぶ機会要増加	33.1%	31.2%	1.9%	1.9
違法駐輪は迷惑	31.6%	29.8%	1.8%	1.8
車道での事故恐怖	42.7%	41.4%	1.3%	1.3
年齢・趣味に応じて選択可	21.4%	20.2%	1.2%	1.2
注意走行は事故なし	8.2%	7.7%	0.5%	0.5
鍵のかけ忘れは盗難にあう	43.9%	43.7%	0.2%	0.2
止めるとき注意しないと転倒	15.4%	15.4%	0.0%	0.0
駐輪禁止が多く手軽に乗れず	13.1%	13.5%	-0.4%	-0.4
部品にこだわりたい	2.6%	3.1%	-0.5%	-0.5
幼児の送迎に必須	3.1%	4.2%	-1.1%	-1.1
行動範囲が広がる	21.0%	22.8%	-1.8%	-1.8
車より自転車が便利	13.4%	16.8%	-3.4%	-3.4
日常生活に必須	12.9%	16.7%	-3.8%	-3.8
サイクリングは気持ちよい	12.4%	16.7%	-4.3%	-4.3
手軽に出かけられる	23.0%	29.9%	-6.9%	-6.9
走行時爽快感	9.6%	21.8%	-12.2%	-12.2
車に比べて安価・便利	22.2%	45.8%	-23.6%	-23.6
健康増進につながる	27.3%	-	-	
地球環境にやさしいまちづくりや交通に欠かせないもの	16.7%	-	-	
生活習慣病の予防になる	16.6%	-	-	

第4章 自転車保有台数の推計

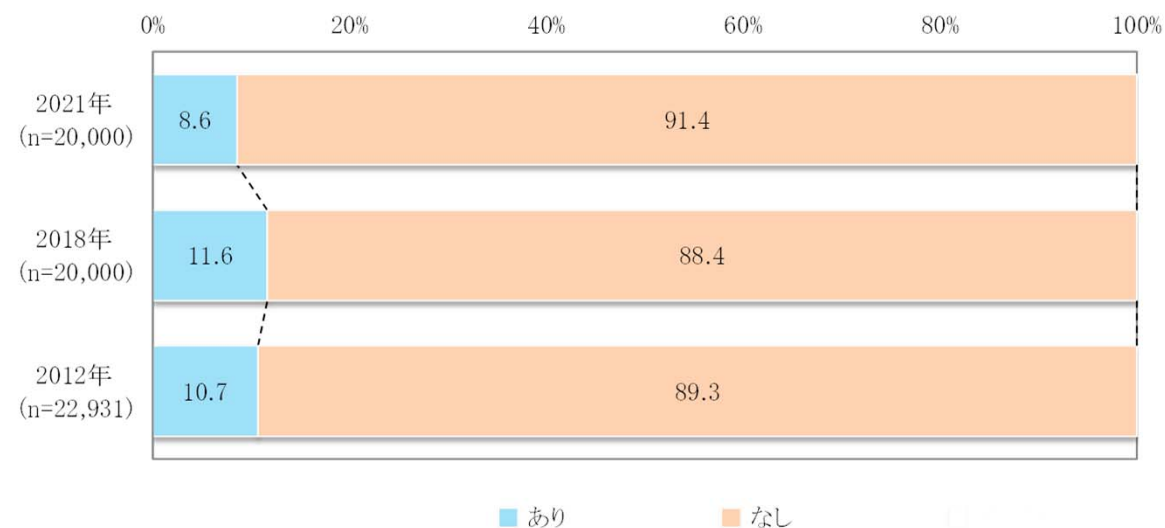
§1 自転車の新車購入台数

2. 購入予定世帯の割合、1世帯当たり購入予定台数

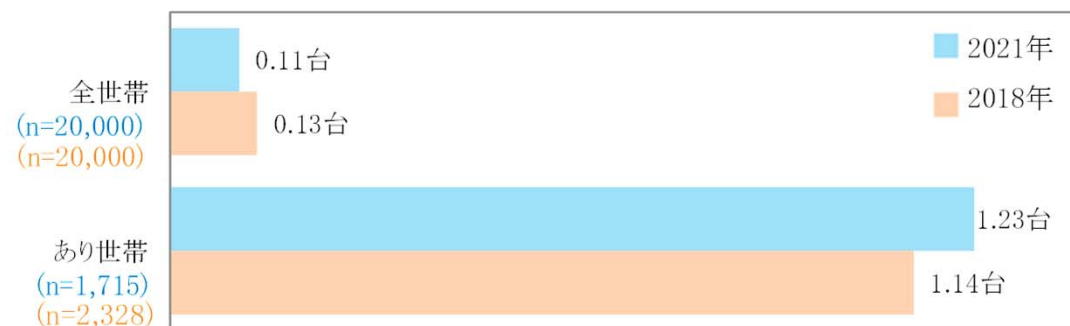
前回（2018年調査）より新車「購入予定あり」が3.0ポイント減少した。
1世帯当たりの平均購入予定台数は全世帯で0.02台減少、購入予定あり世帯では0.09台増加した。

「質問」 D6.今後の新車購入予定台数をお知らせください。（数量）

前回との購入予定有無別世帯割合の比較



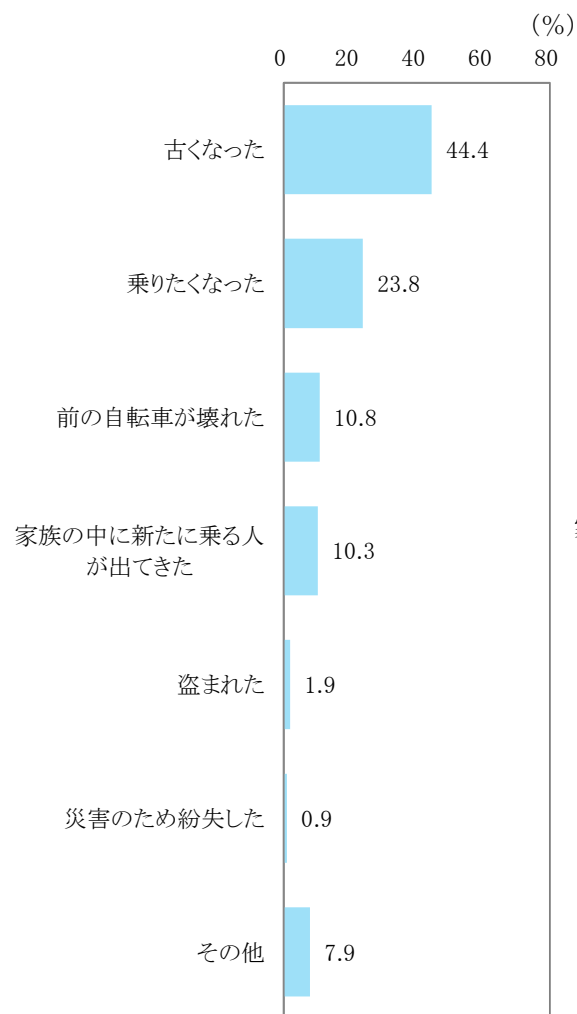
前回との1世帯当たり平均購入予定台数の比較



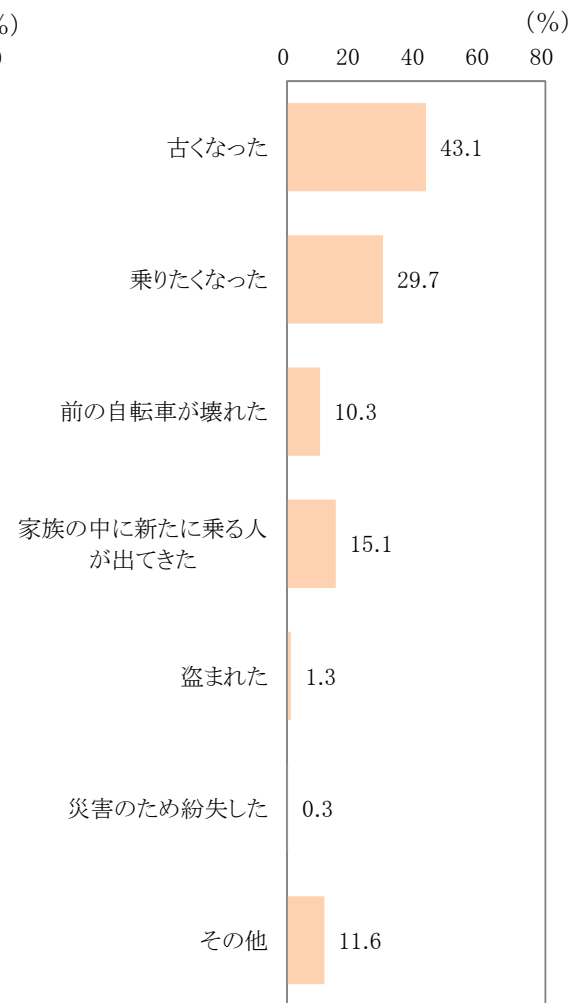
3. 自転車購入予定理由

「質問」 D7.ご購入予定の自転車のご購入理由をお知らせください。

2021年調査の購入予定理由別割合
[SA] (n=1, 715)



2018年調査の購入予定理由別割合
[MA] (n=2, 328)



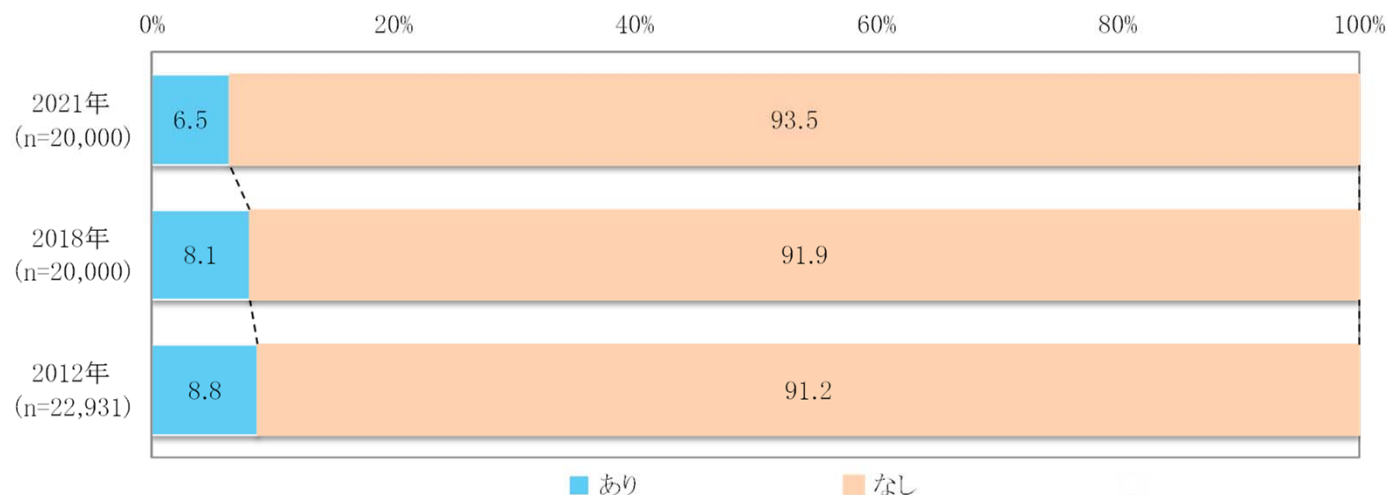
§2 自転車の廃棄台数

2. 廃棄予定世帯の割合、1世帯当たり廃棄予定台数

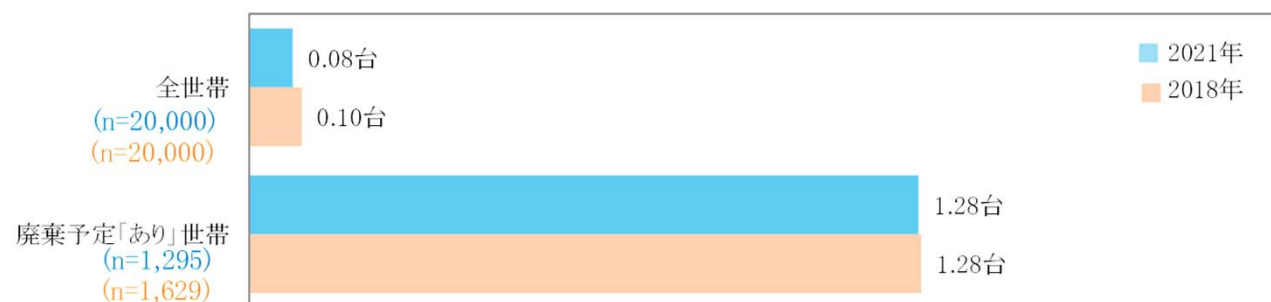
前回（2018年調査）より自転車廃棄予定「あり」が1.6ポイント減少した。
1世帯当たりの平均廃棄予定台数は、全世帯で0.02台減少したが、廃棄予定あり世帯では変化はみられなかった。

「質問」 D9.今後の廃棄予定台数をお知らせください。（数量）

前回との廃棄予定有無別世帯割合の比較



前回との1世帯当たり平均廃棄予定台数



§3 2021年・2022年 自転車保有台数の推計

3. 地域別自転車保有台数の推計

2021年の自転車保有台数が多い都道府県は「東京都」「大阪府」「埼玉県」、少ないのは「長崎県」「鳥取県」「島根県」である。

2021年1世帯当たり自転車保有台数が多い都道府県は「大阪府」「高知県」「埼玉県」、少ないのは「長崎県」「沖縄県」「大分県」である。

	2021年 保有台数 (千台)		2021年 保有台数 (千台)		2021年 1世帯当たり 保有台数 (台)		2021年 1世帯当たり 保有台数 (台)
北海道	2,069	滋賀県	683	北海道	0.838	滋賀県	1.196
青森県	416	京都府	1,386	青森県	0.817	京都府	1.166
岩手県	482	大阪府	5,596	岩手県	0.983	大阪府	1.356
宮城県	824	兵庫県	2,607	宮城県	0.840	兵庫県	1.087
秋田県	334	奈良県	558	秋田県	0.870	奈良県	1.026
山形県	419	和歌山県	464	山形県	1.055	和歌山県	1.178
福島県	639	鳥取県	213	福島県	0.863	鳥取県	0.972
茨城県	1,146	島根県	261	茨城県	0.970	島根県	0.974
栃木県	891	岡山県	891	栃木県	1.120	岡山県	1.115
群馬県	908	広島県	1,178	群馬県	1.131	広島県	0.949
埼玉県	4,024	山口県	506	埼玉県	1.274	山口県	0.846
千葉県	2,959	徳島県	295	千葉県	1.069	徳島県	0.961
東京都	7,692	香川県	450	東京都	1.066	香川県	1.109
神奈川県	3,759	愛媛県	651	神奈川県	0.893	愛媛県	1.084
新潟県	798	高知県	406	新潟県	0.925	高知県	1.293
富山県	475	福岡県	1,891	富山県	1.180	福岡県	0.816
石川県	427	佐賀県	267	石川県	0.910	佐賀県	0.859
福井県	336	長崎県	212	福井県	1.156	長崎県	0.381
山梨県	293	熊本県	621	山梨県	0.866	熊本県	0.866
長野県	823	大分県	317	長野県	0.991	大分県	0.650
岐阜県	847	宮崎県	435	岐阜県	1.087	宮崎県	0.928
静岡県	1,602	鹿児島県	509	静岡県	1.082	鹿児島県	0.701
愛知県	3,768	沖縄県	301	愛知県	1.165	沖縄県	0.491
三重県	618			三重県	0.834		

4. 自転車保有台数の時系列推移及び予測

世帯人員との関係で一世帯当たり保有推計式を求め、推計式に将来の世帯人員を代入し、一世帯当たり保有の予測値を算出した。

年	標本保有	一世帯当たり保有	母集団保有台数	国政調査年	標本世帯数	母集団世帯数
2011	32,014	1.60	82,984	2010	20000	51,842
2012	30,914	1.55	80,465			52,057
2013	30,101	1.51	78,672			52,271
2014	29,300	1.46	76,916			52,503
2015	28,248	1.41	74,457			52,717
2016	27,246	1.36	72,655	2015	20000	53,332
2017	25,879	1.29	69,623			53,807
2018	24,518	1.23	66,545			54,281
2019	23,174	1.16	63,444			54,756
2020	21,852	1.09	60,345	2020	20000	55,230
2021	20,553	1.03	57,244			55,705
2022	20,244	1.01	56,413			55,733
2023	19,735	0.99	55,036			55,775
2024	19,262	0.96	53,731			55,789
2025	18,825	0.94	52,503			55,778
2026	18,451	0.92	51,398			2025
2027	18,129	0.91	50,399	55,602		
データ単位	千台	一台	千台		千世帯	千人
	自転車保有実態調査			国勢調査		
	実績推定			人口問題研究所推計		
	将来推定					

4. 自転車保有台数の時系列推移及び予測

